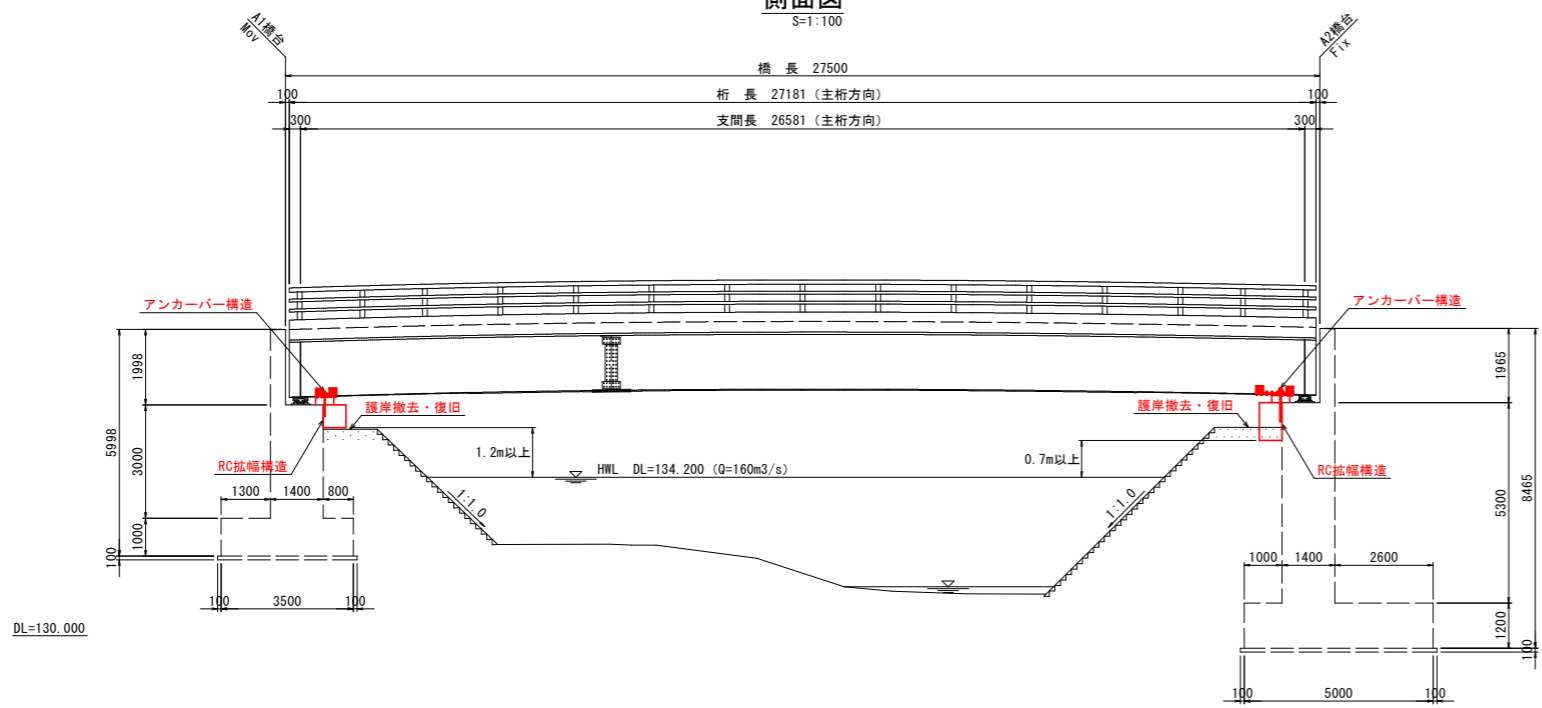
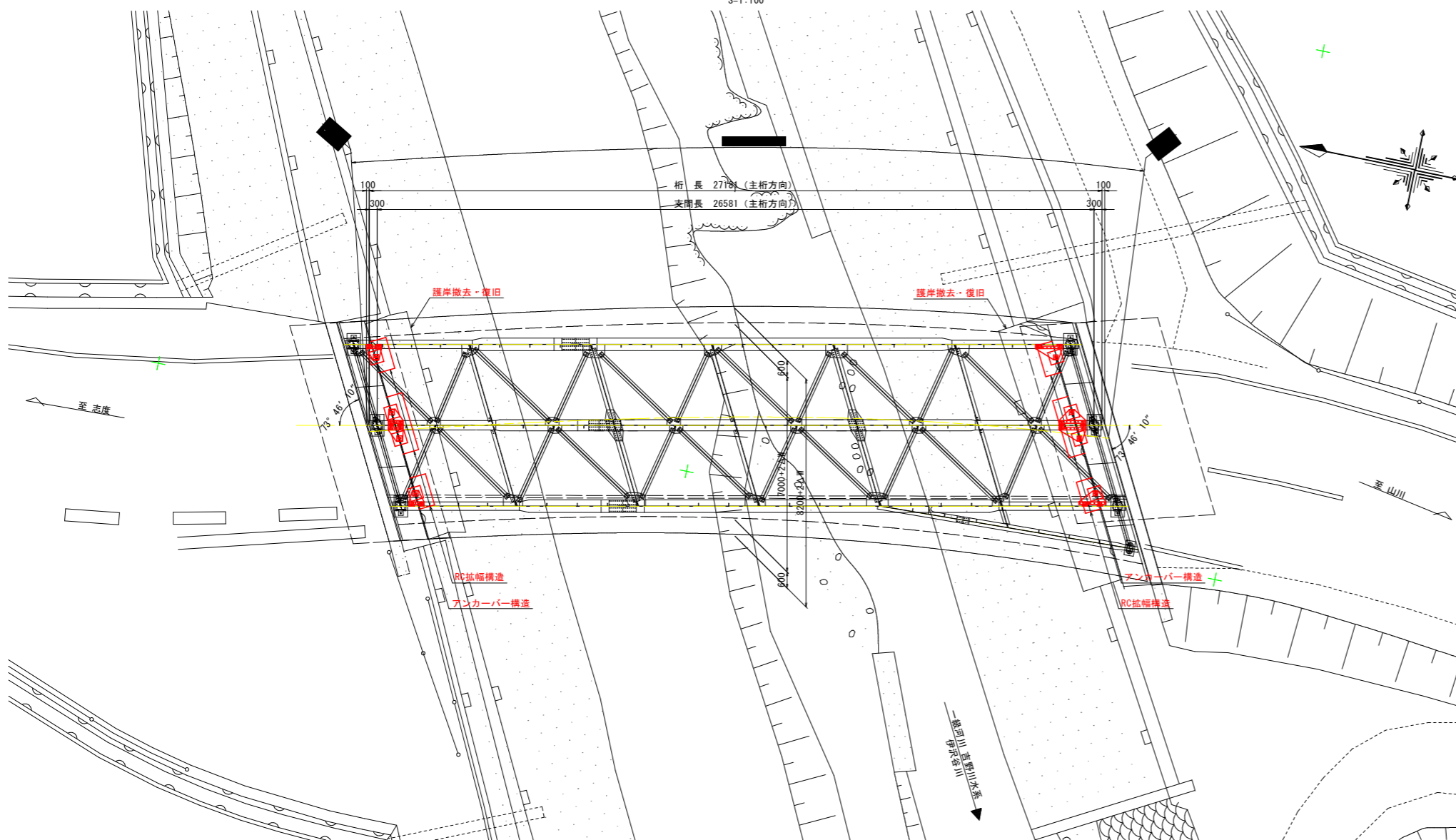


橋梁耐震補強一般図

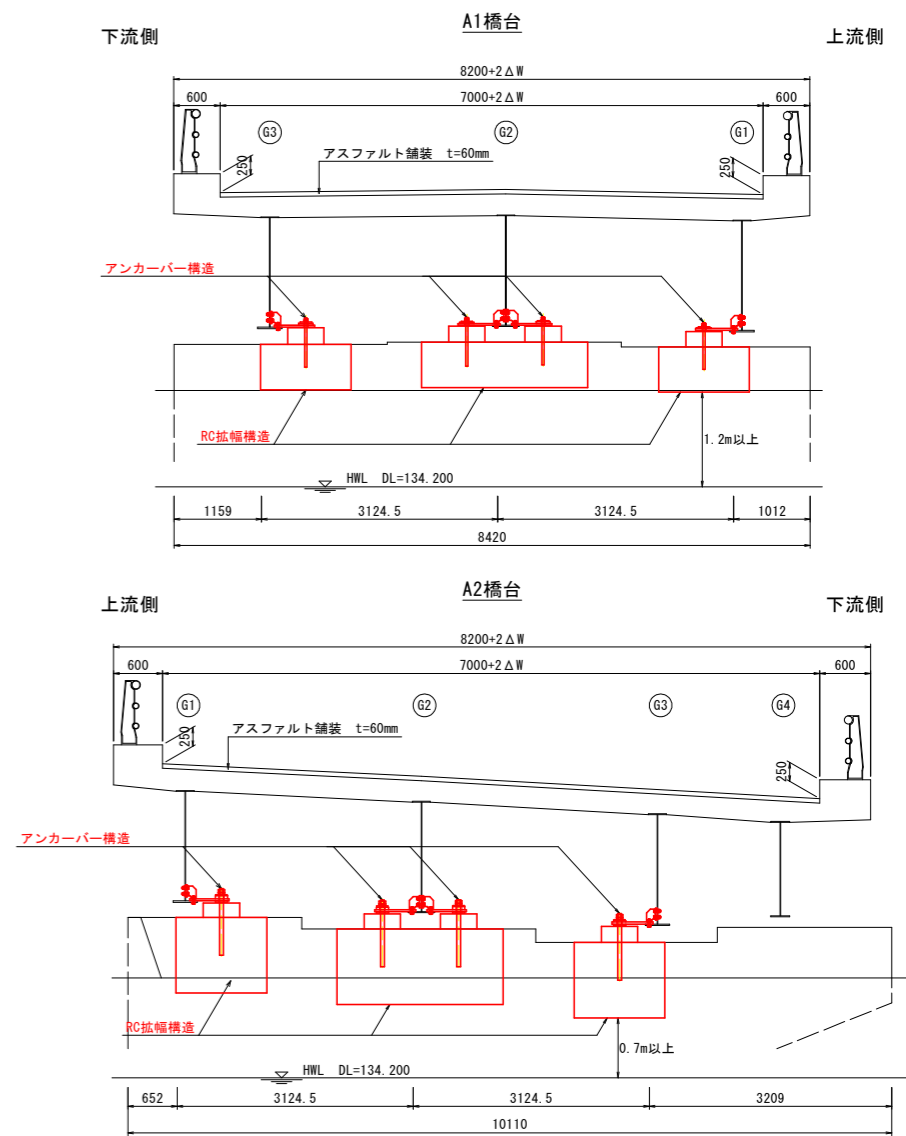
側面図
S=1:100



平面図
S=1:100



断面図
S=1:50



現橋諸元

路線名	主要地方道 志度山川線	※3
道路区分	第3種 第4級	※2
設計速度	40km/h	※2
橋梁名	一の瀬橋 (一ノ瀬橋)	※1~3
架設年	昭和62年 (1987年) 12月	※1.3
橋格	1等橋 (TL-20)	※1.2
形式	活荷重合成鋼桁	※2
橋長	27.500m (道路CL上)	※1~3
桁長	27.181m (主桁方向)	※2
支間長	26.581m (主桁方向)	※2
有効幅員	車道: 7.000m+2ΔW	※2
平面線形	R=65.000	※2
横断線形	imax=6.0%	※2
縦断線形	5.0% / 9.0% (VCL=65.000)	※2
斜角	骨組: θR=73° 46' 10"	※2
舗装	アスファルト舗装	※2
躯体形式	逆T式橋台	※2.3
基礎形式	直接基礎	※2
支持地盤	岩石 (風化泥岩, 泥岩)	※2.3
コンクリート	上部工 σck=30N/mm ²	※2
設計基準強度	下部工 σck=21N/mm ²	※2
適用基準	昭和47年 道路橋示方書・同解説	※1.2

河川諸元

河川名	一級河川吉野川水系伊沢谷川	※1~3
計画高水流量	Q=160m ³ /s	※2
計画高水位	DL=134.200	※2

※1~3は以下の資料を根拠とした。
1. 橋銘板・橋歴板 2. 完成図書 3. 橋梁台帳

耐震補強対策一覧

下部構造	落橋防止構造	水平力分担構造	資産拡幅構造
A1橋台	必要なし	アンカーバー構造	拡幅不要
A2橋台	必要なし	アンカーバー構造	拡幅不要

耐震設計条件

地域別補正係数	Cz=1.0, C1z=1.0, C11z=1.0 (A2地域)				
地盤種別	I種地盤				
下部構造	A1橋台		A2橋台		
作用方向	橋軸方向	直角方向	橋軸方向	直角方向	
支承条件	Mov	Fix	Fix	Fix	
静摩擦力: Fs	0.15	---	---	---	
上部工重量: W (kN)	2250		2250		
死荷重反力: Rd (kN)	1125		1125		
設計水平震度 (kh, khc)	L1	0.16	0.16	0.20	0.16
	L2-TYPE1	0.40	0.40	0.63	0.40
	L2-TYPE2	0.40	0.40	0.61	0.40
設計水平力: H (kN)	169	450	1418	450	

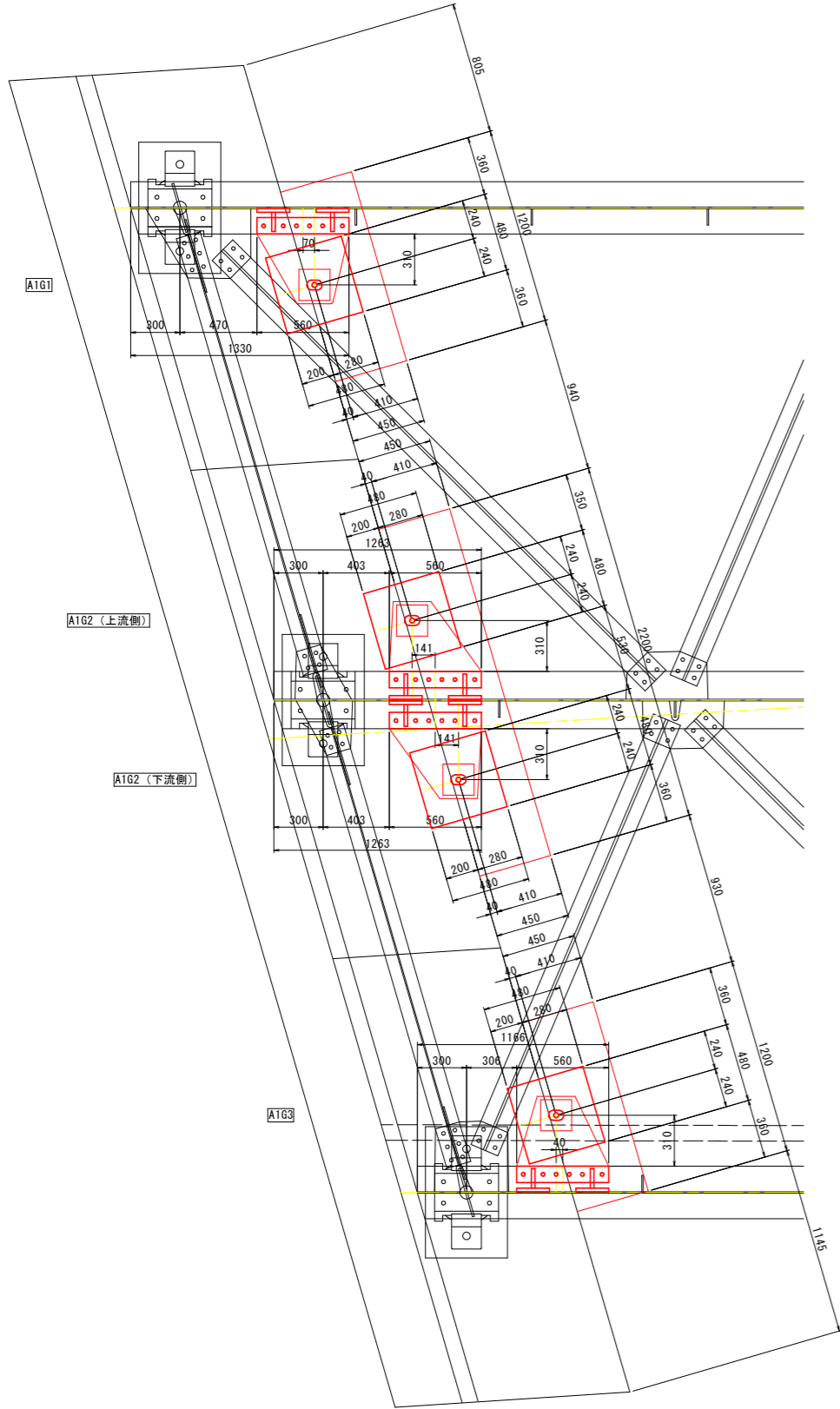
実施設計図面

工事名	R2吉土 志度山川線 (一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	橋梁耐震補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	01/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

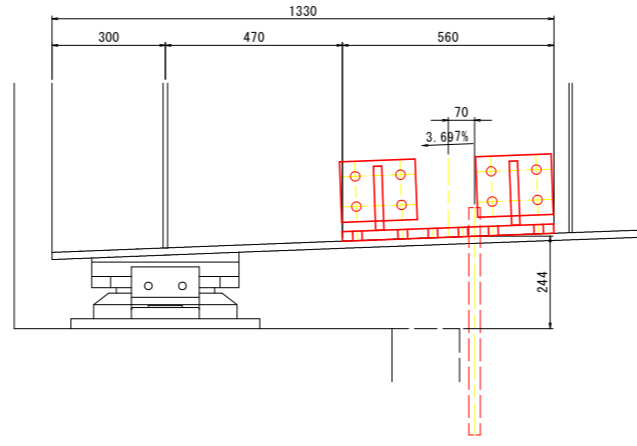
水平力分担構造一般図 (1/2)

S=1:10

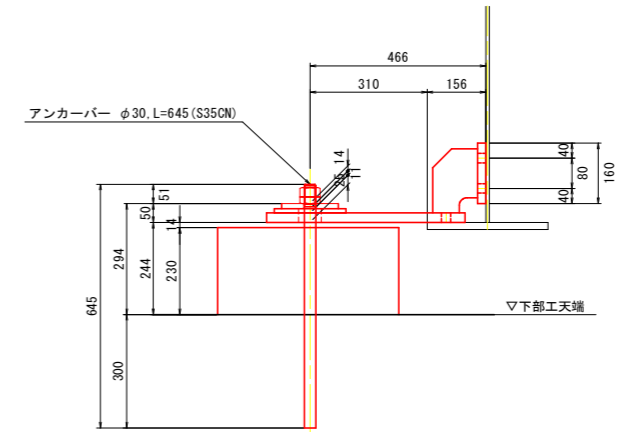
平面図



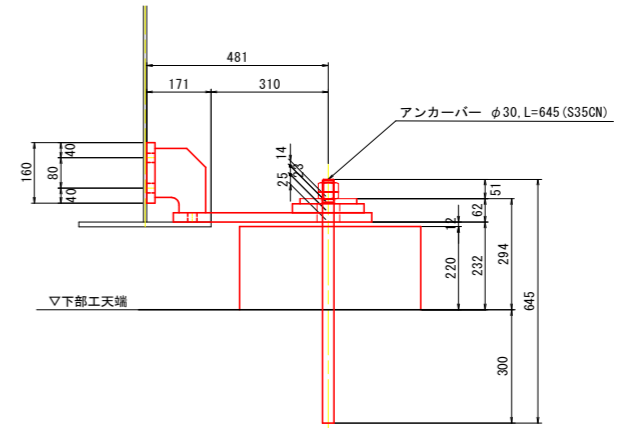
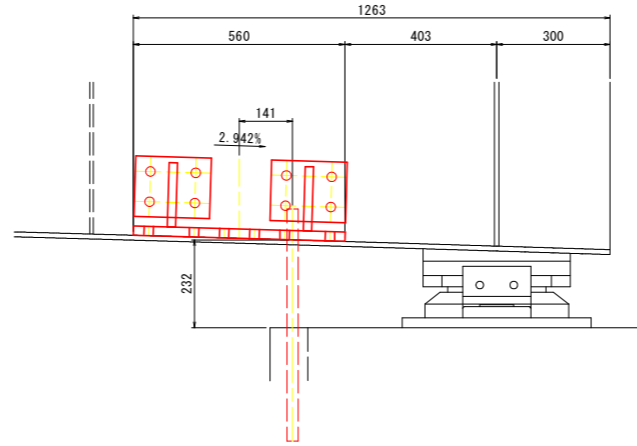
A1



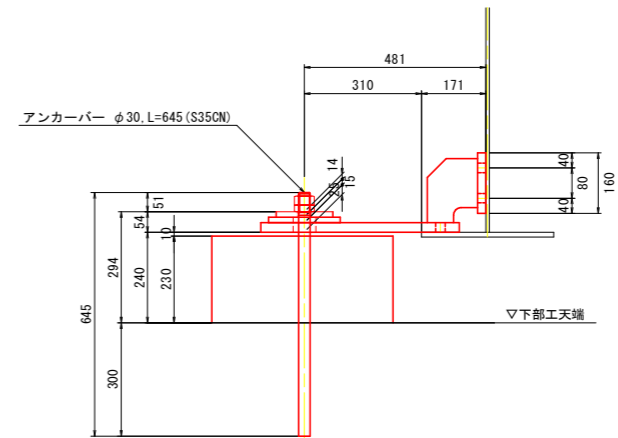
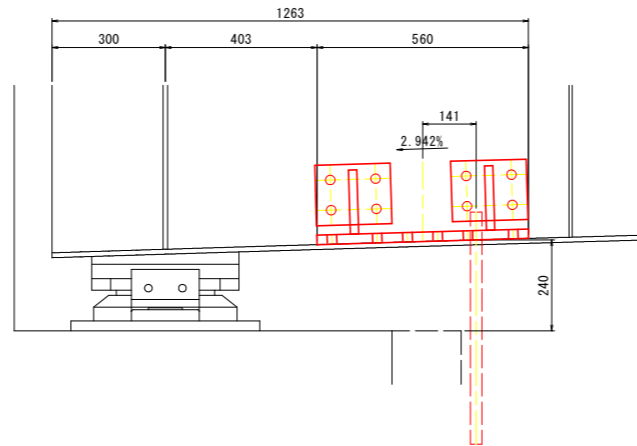
A1G1



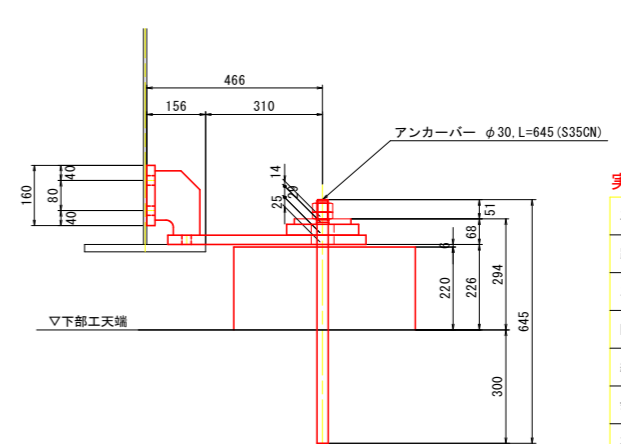
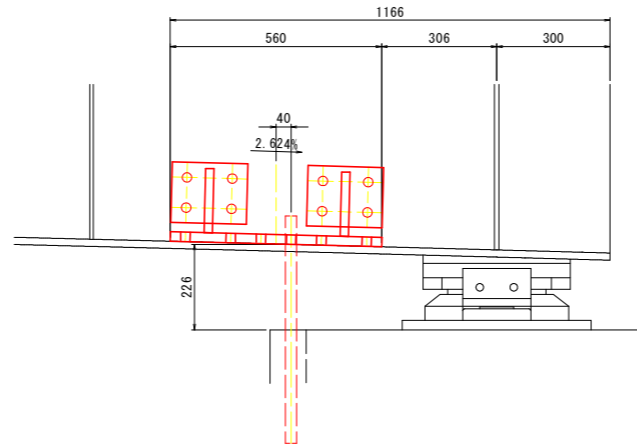
A1G2 (上流側)



A1G2 (下流側)



A1G3



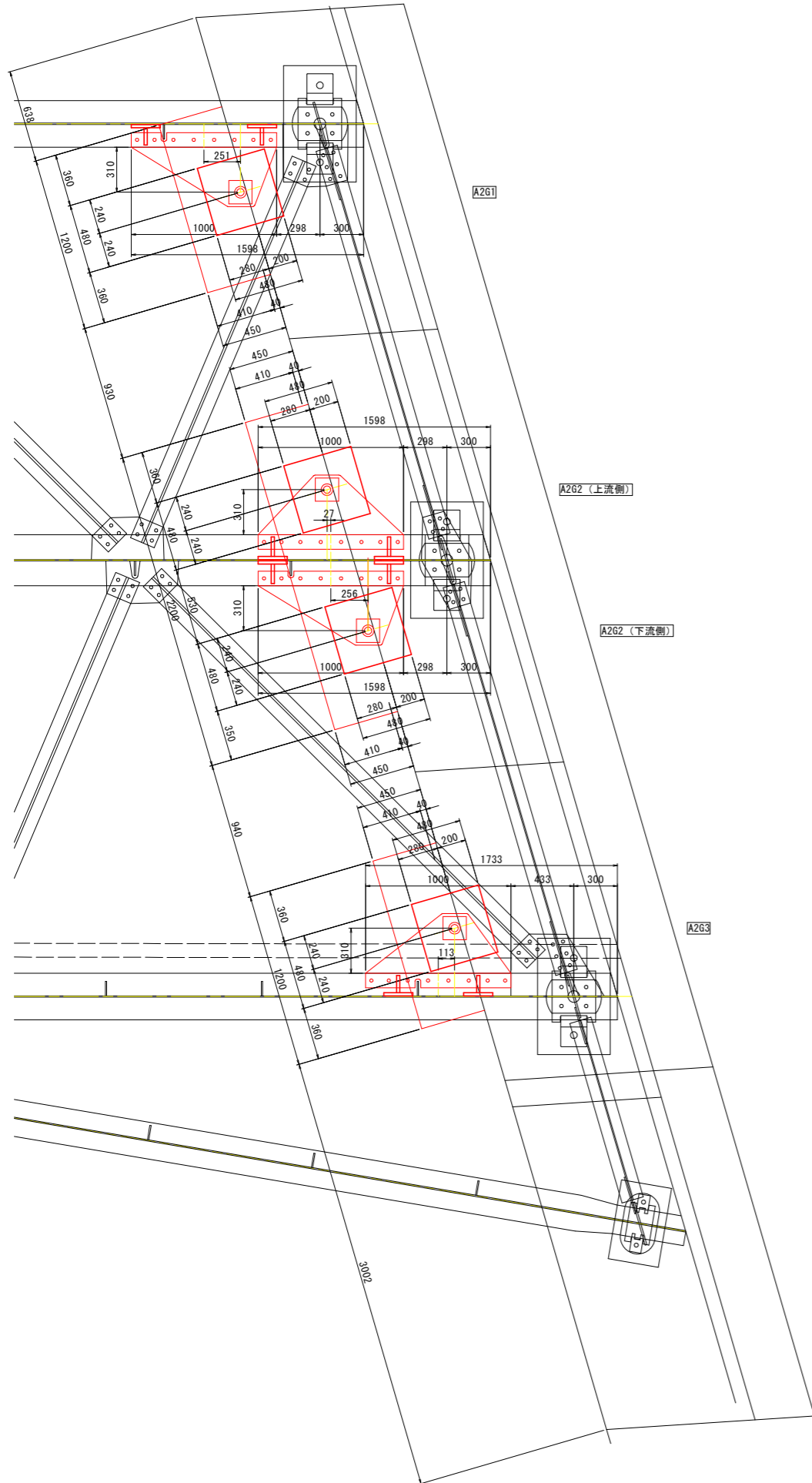
実施設計図面

工事名	R2 吉士 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	水平力分担構造一般図 (1/2)		
縮尺	S=1:10	図面番号	02/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

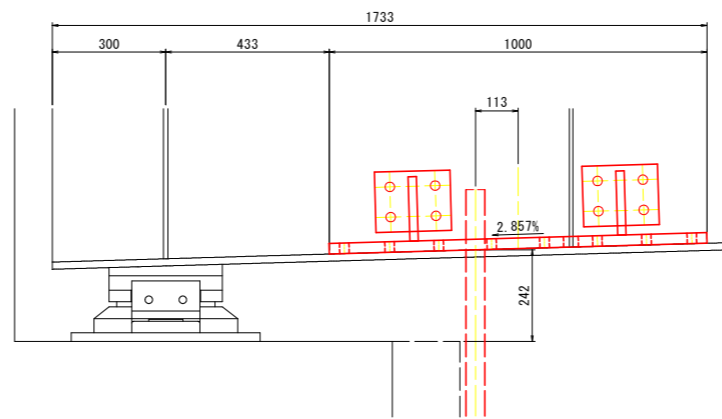
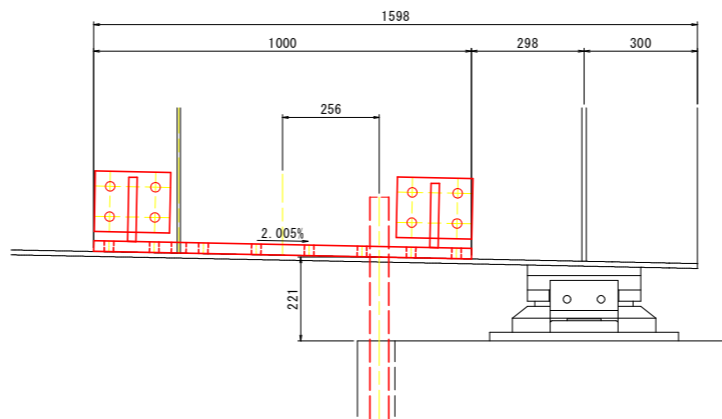
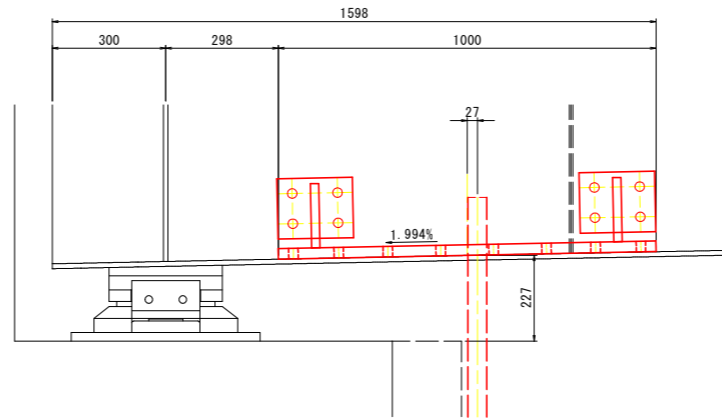
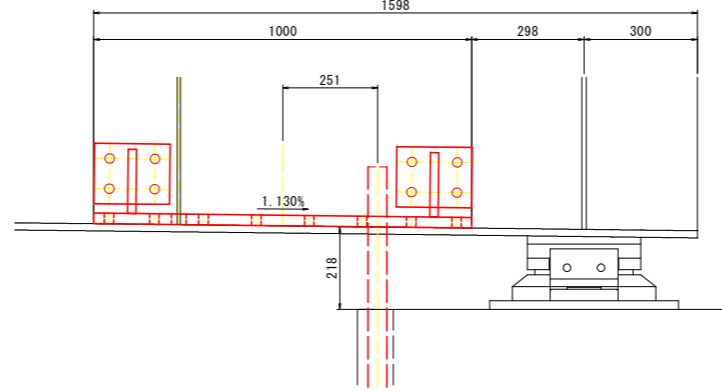
水平力分担構造一般図 (2/2)

S=1:10

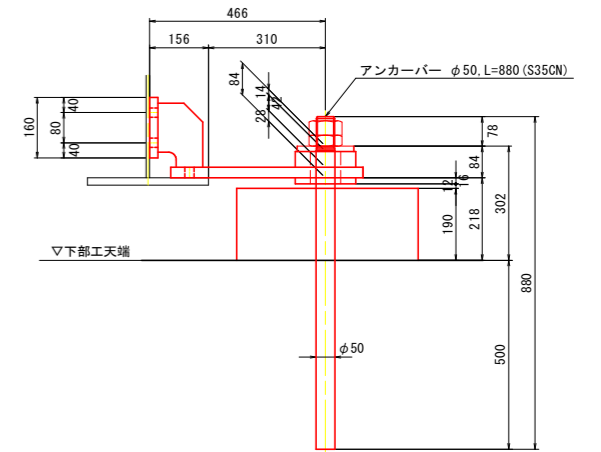
平面図



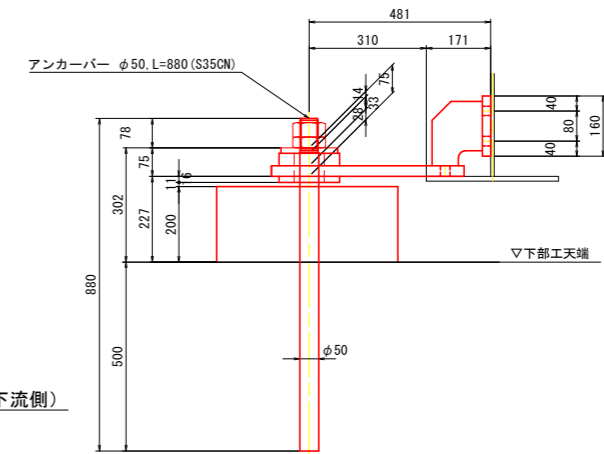
A2



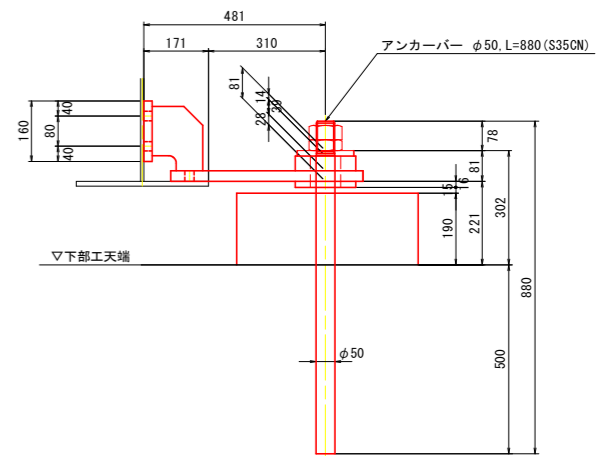
A2G1



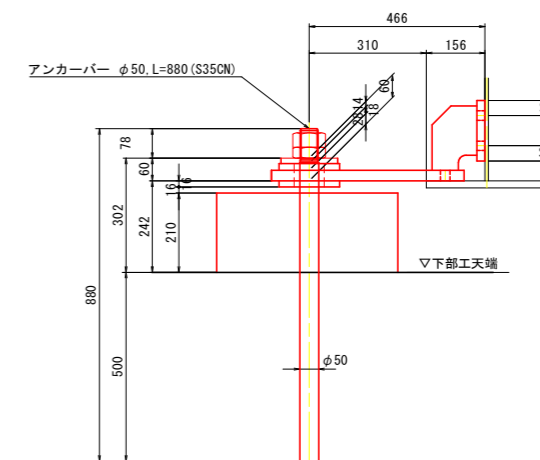
A2G2 (上流側)



A2G2 (下流側)



A2G3



実施設計図面

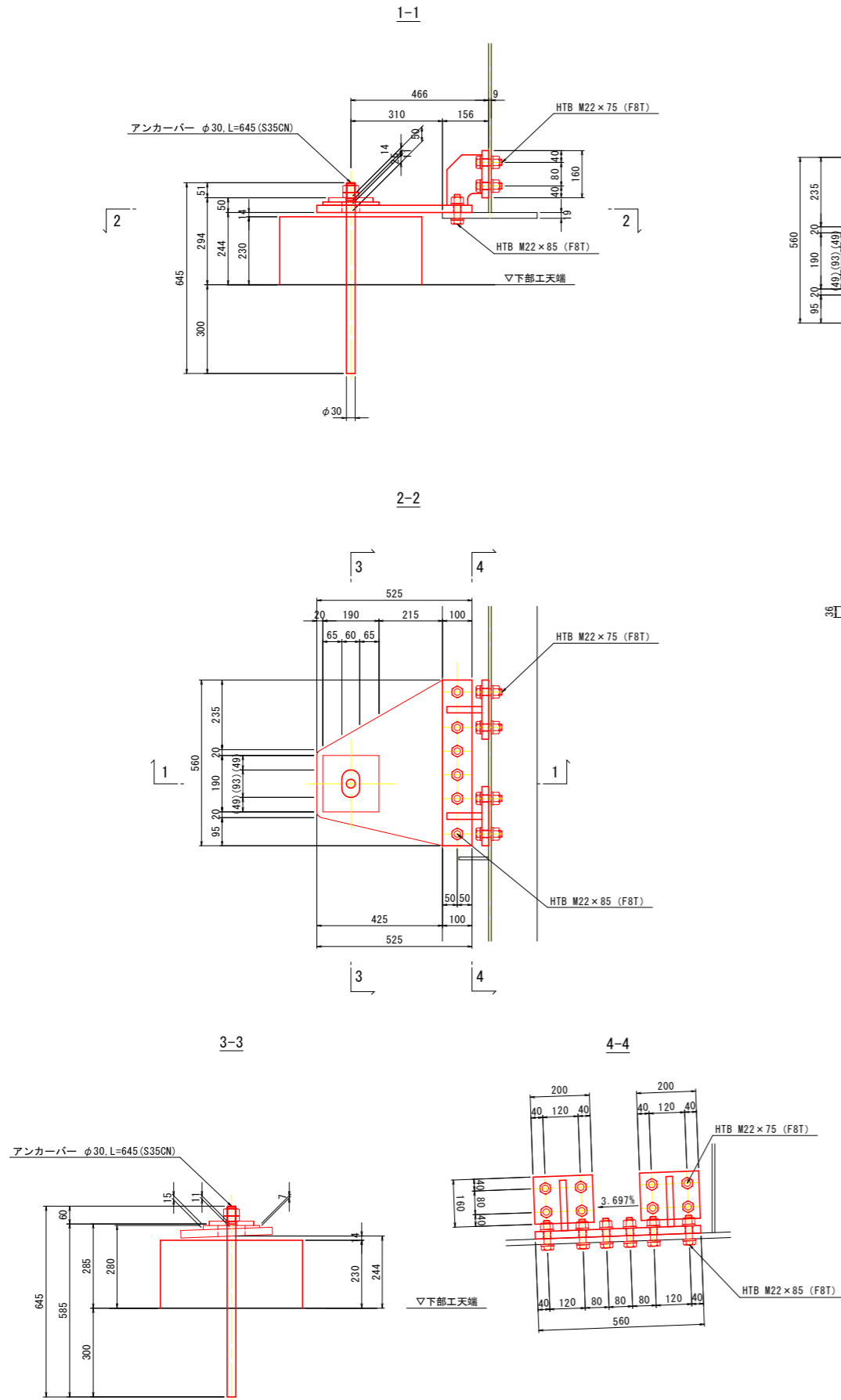
工事名	R2吉士 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	水平力分担構造一般図 (2/2)		
縮尺	S=1:10	図面番号	03/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

水平力分担構造加工図 (1/8)

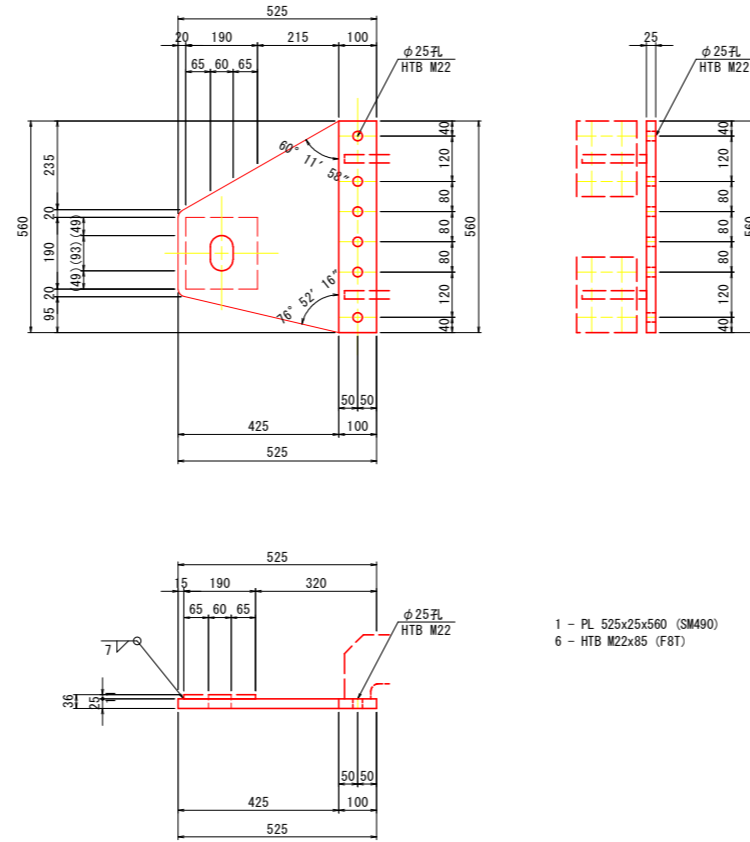
S=1:10

A1G1

取付詳細図

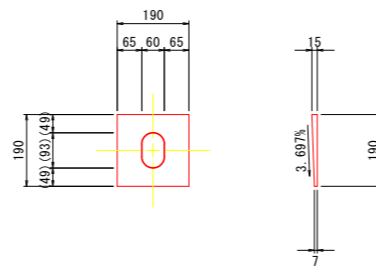


本体



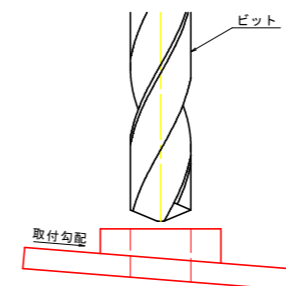
- 1 - PL 525x25x560 (SM490)
- 6 - HTB M22x85 (F8T)

調整補強材



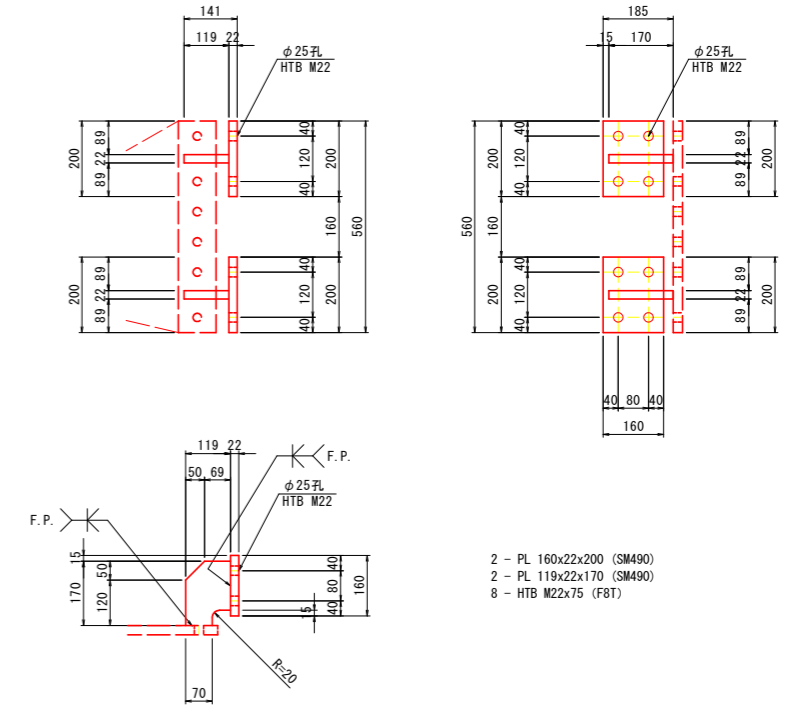
- 1 - PL 190x15x190 (SM490)

アンカーバー用孔明イメージ図



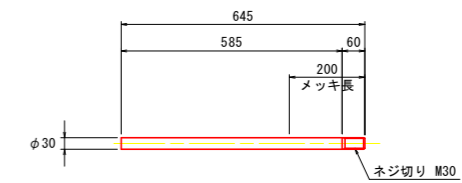
加工図

主桁補強材

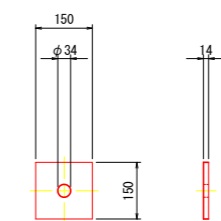


- 2 - PL 160x22x200 (SM490)
- 2 - PL 119x22x170 (SM490)
- 8 - HTB M22x75 (F8T)

アンカーボルト



- 1 - アンカーバー φ30, L=645 (S35CN)



- 1 - ナット (1種) M30 (SS400)
- 1 - ナット (3種) M30 (SS400)

- 1 - 座金 150x14x150 (SS400)

実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	水平力分担構造加工図 (1/8)		
縮尺	S=1:10	図面番号	04/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

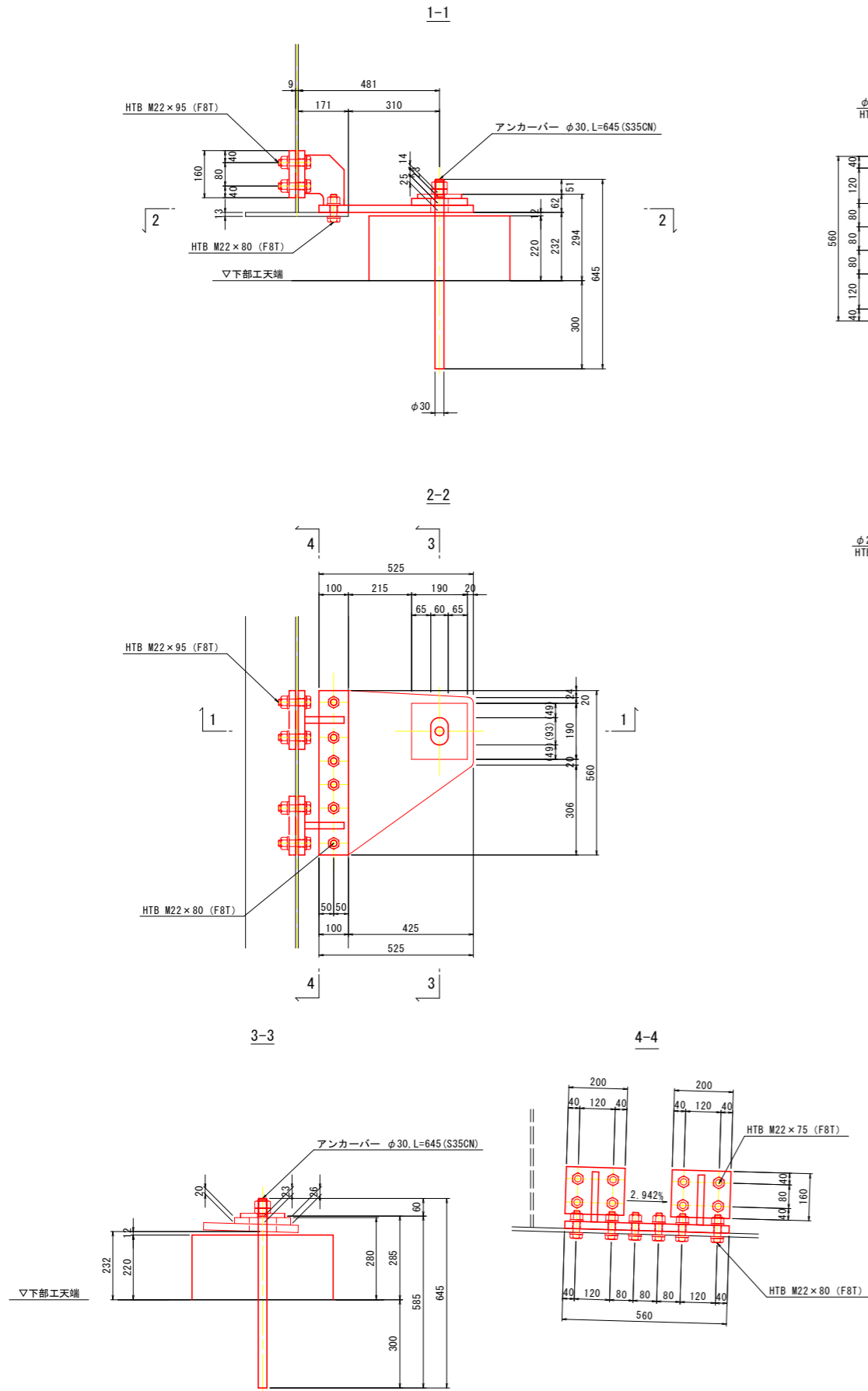
水平力分担構造の鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。
 付着量は、鋼材・その他は HDZ55 とし、
 ボルト・ナット類は、HDZ35 とする。
 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 () 内寸法は取付完了時の水平方向の寸法である。

水平力分担構造加工図 (2/8)

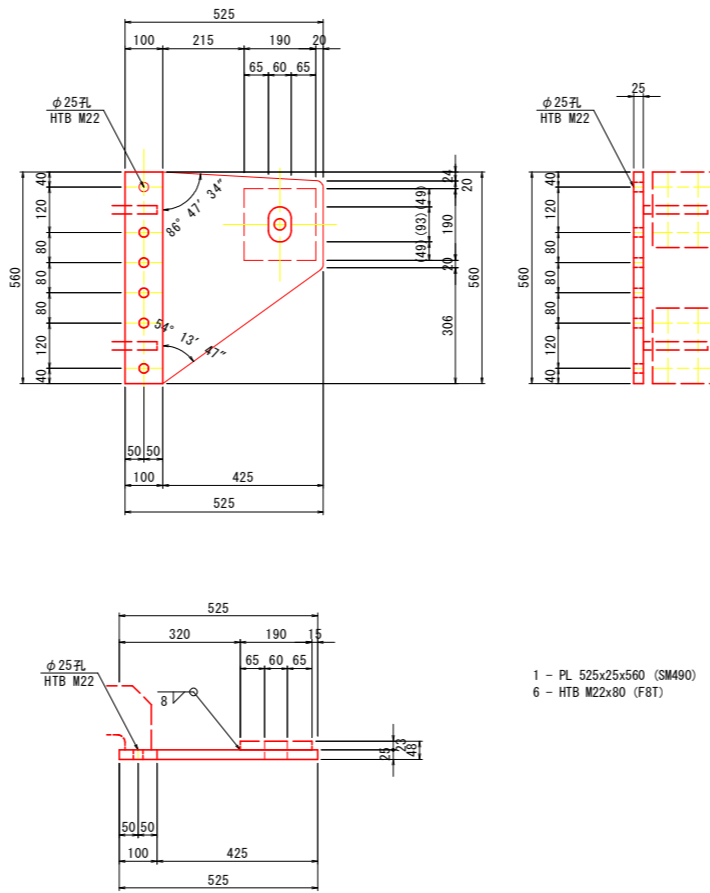
S=1:10

A1G2 (上流側)

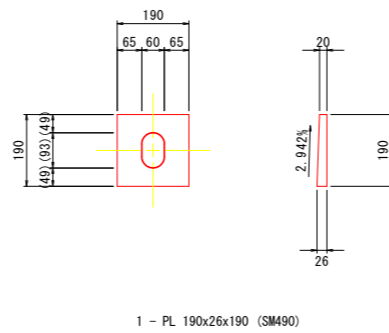
取付詳細図



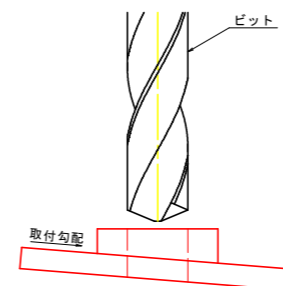
本体



調整補強材

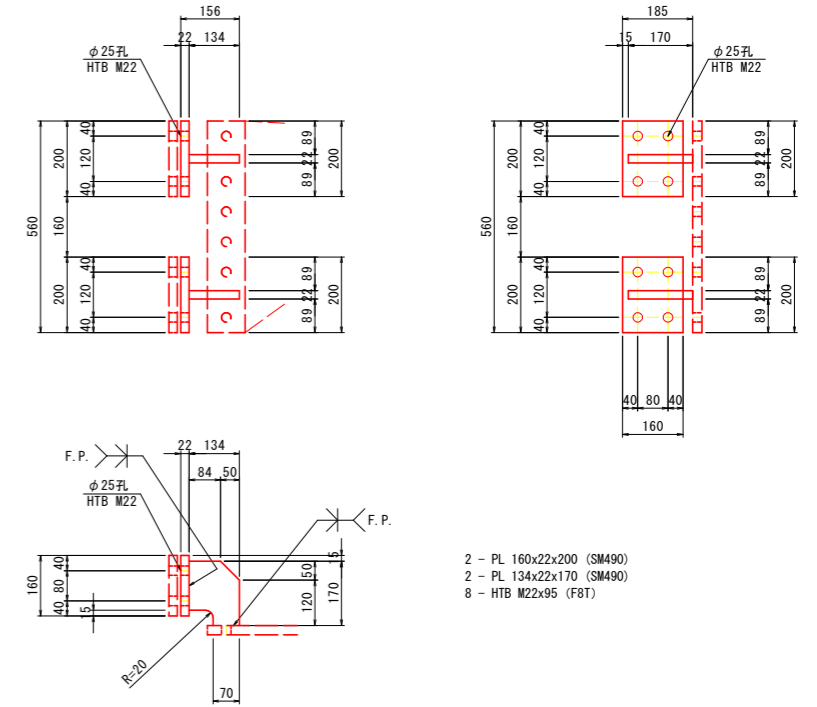


アンカーバー用孔明イメージ図

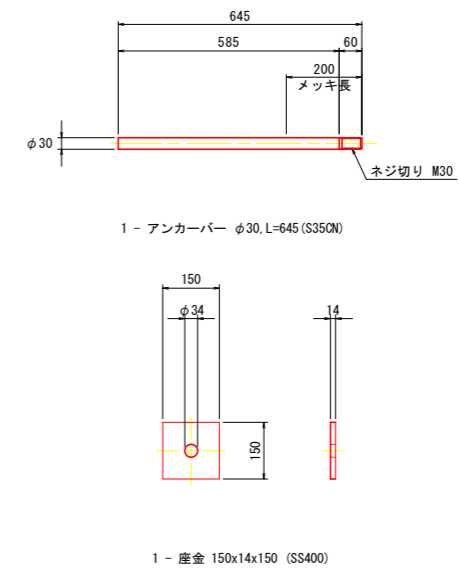


加工図

主桁補強材



アンカーボルト



実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	水平力分担構造加工図 (2/8)		
縮尺	S=1:10	図面番号	05/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

水平力分担構造の鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。
 付着量は、鋼材・その他は HDZ55 とし、
 ボルト・ナット類は、HDZ35 とする。
 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 () 内寸法は取付完了時の水平方向の寸法である。

水平力分担構造加工図 (5/8)

S=1:10

A2G1

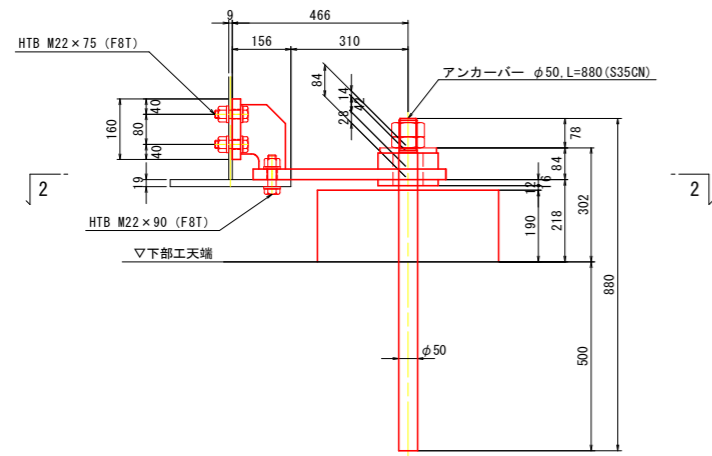
本体

加工図

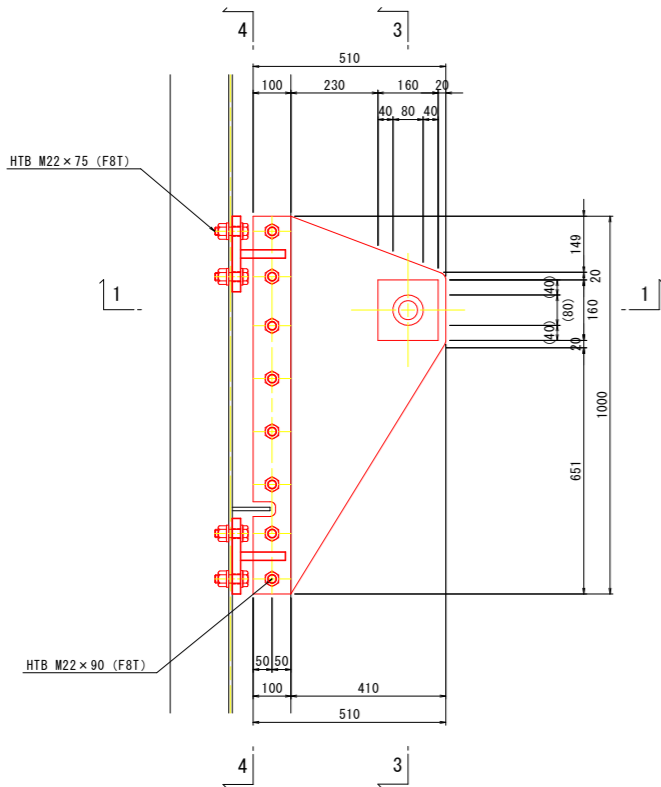
主桁補強材

取付詳細図

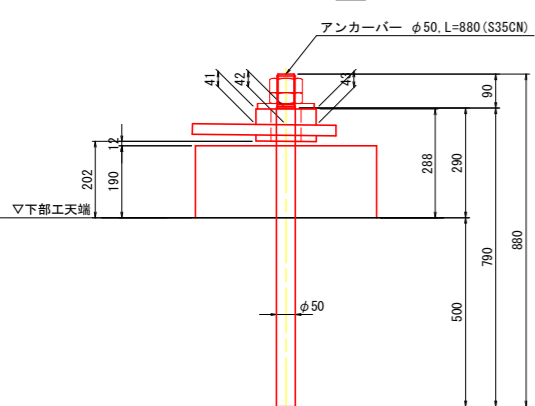
1-1



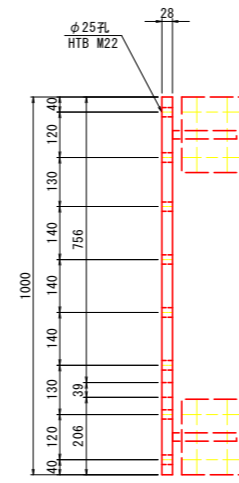
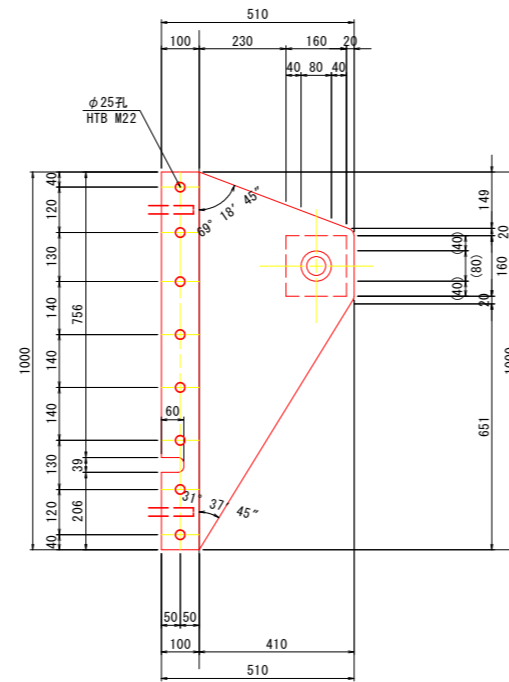
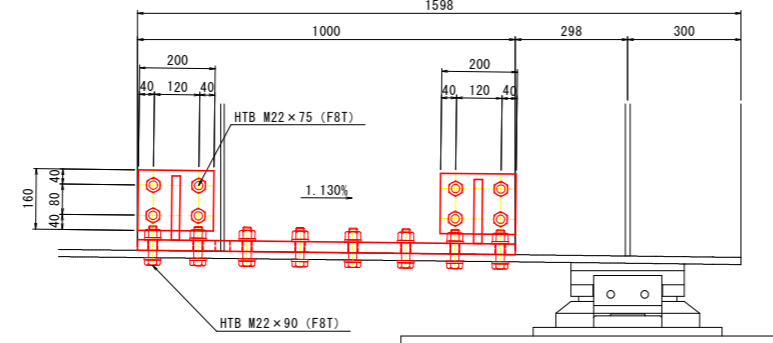
2-2



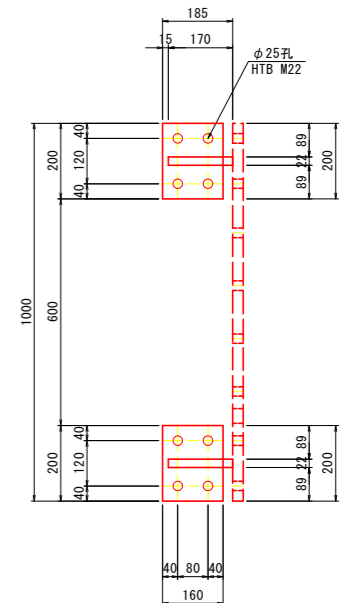
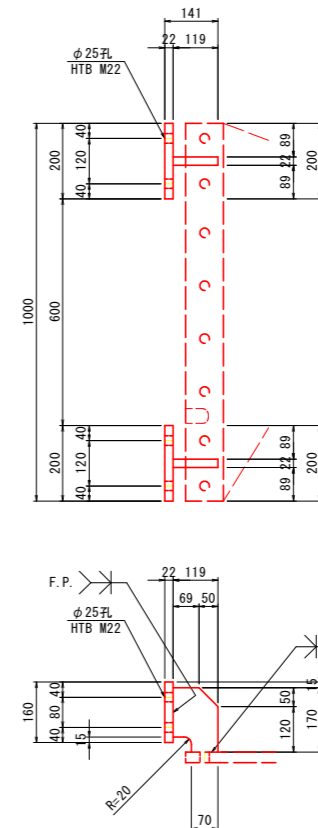
3-3



4-4

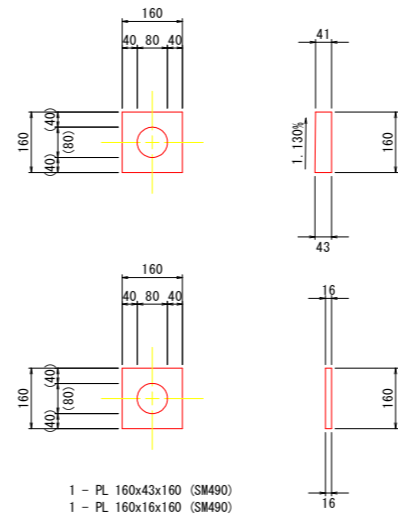


- 1 - PL 510x28x1000 (SM490)
- 8 - HTB M22x90 (F8T)



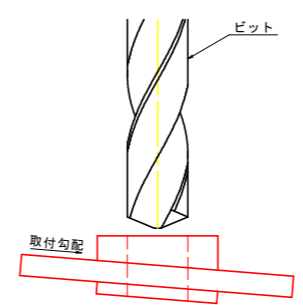
- 2 - PL 160x22x200 (SM490)
- 2 - PL 119x22x170 (SM490)
- 8 - HTB M22x75 (F8T)

調整補強材

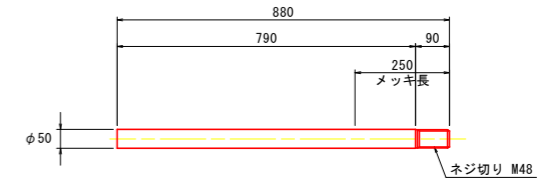


- 1 - PL 160x43x160 (SM490)
- 1 - PL 160x16x160 (SM490)

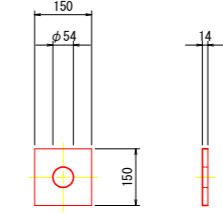
アンカーバー用孔明イメージ図



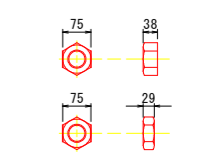
アンカーボルト



1 - アンカーバー φ50, L=880 (S35CN)



1 - 産金 150x14x150 (SS400)



- 1 - ナット (1種) M48 (SS400)
- 1 - ナット (3種) M48 (SS400)

実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	(主) 志度山川線		
図面名	水平力分担構造加工図 (5/8)		
縮尺	S=1:10	図面番号	08/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

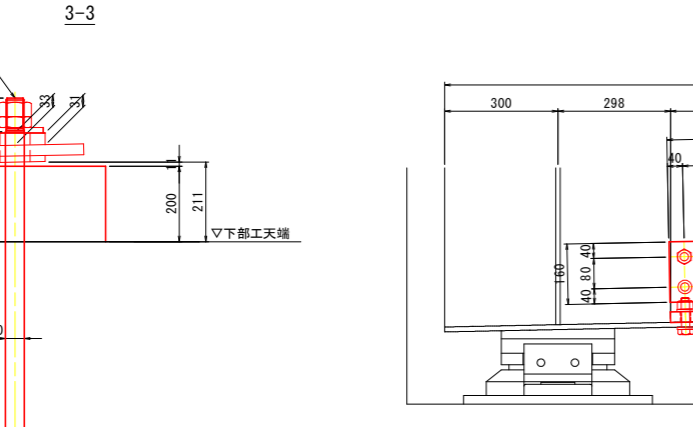
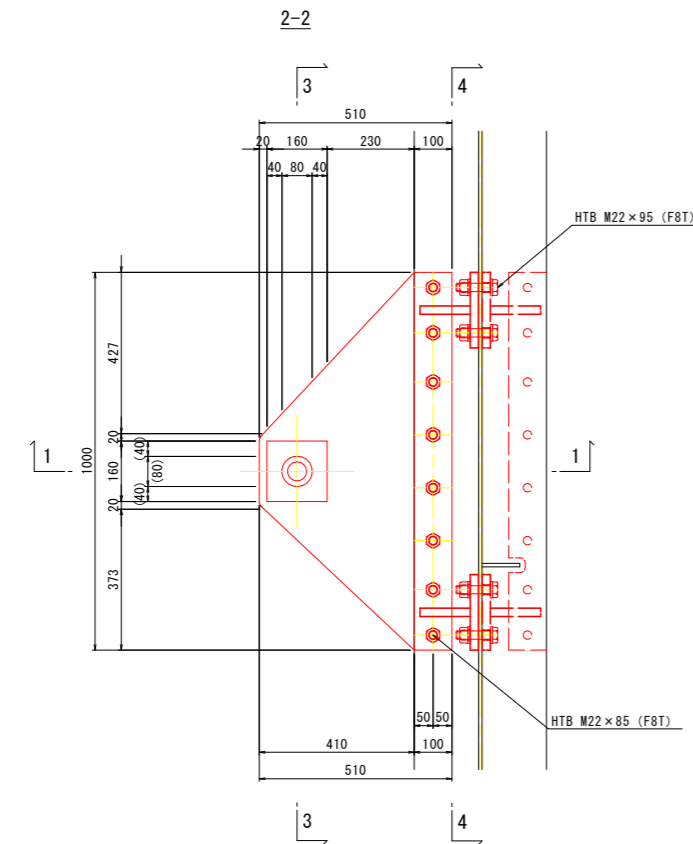
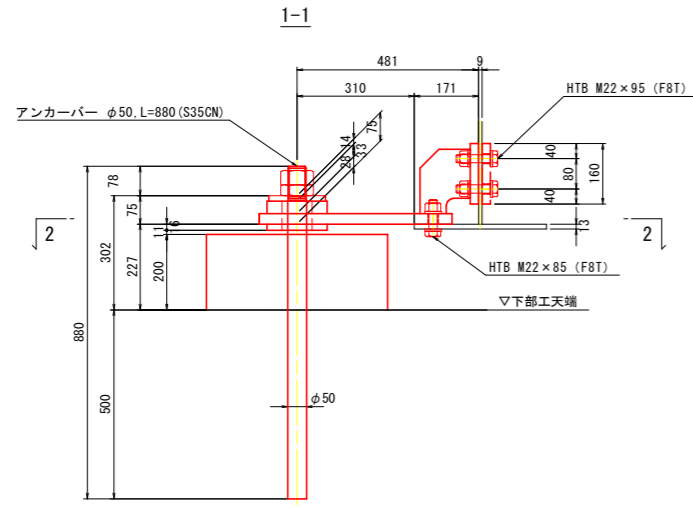
水平力分担構造の鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。
 付着量は、鋼材・その他は HDZ55 とし、
 ボルト・ナット類は、HDZ35 とする。
 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 () 内寸法は取付完了時の水平方向の寸法である。

水平力分担構造加工図 (6/8)

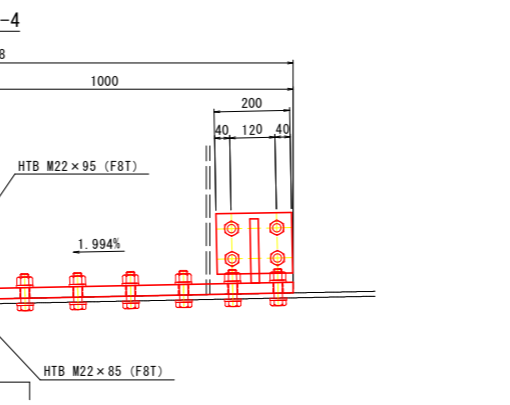
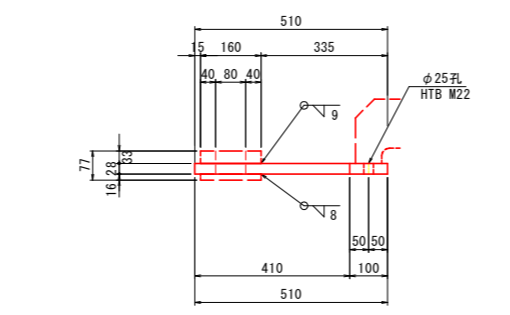
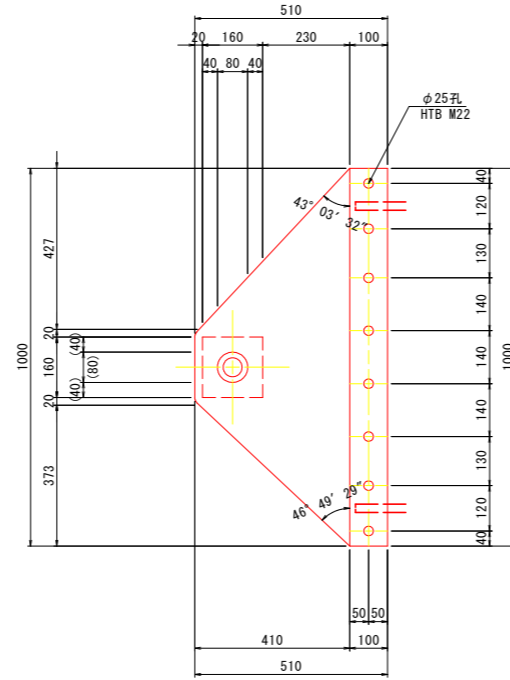
S=1:10

A2G2 (上流側)

取付詳細図

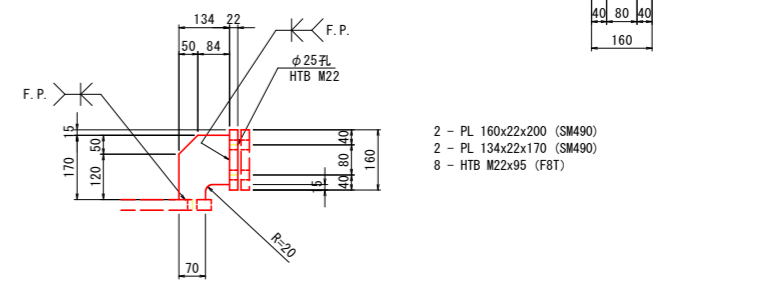
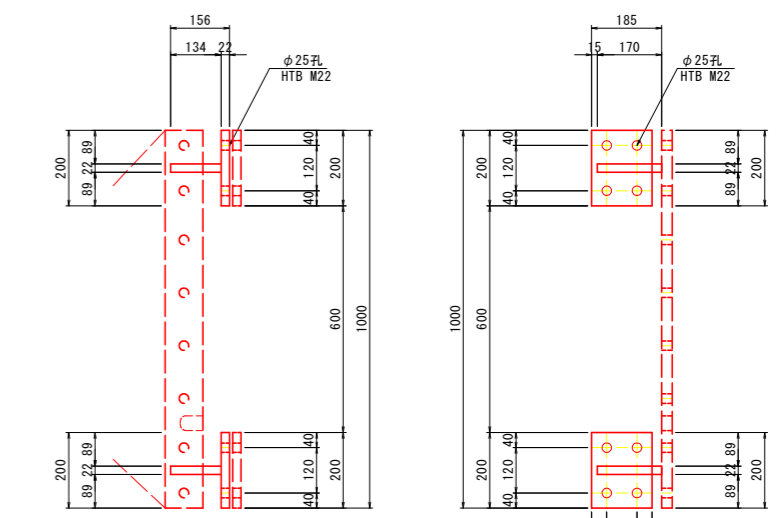


本体



加工図

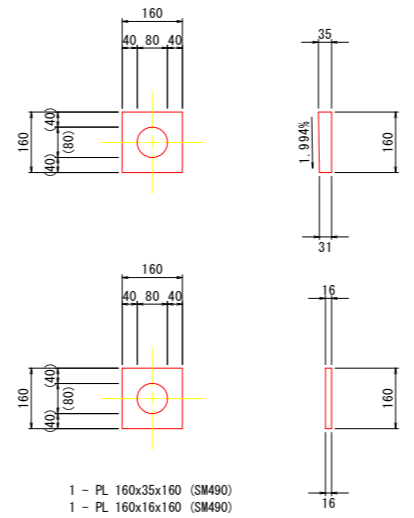
主桁補強材



- 1 - PL 510x28x1000 (SM490)
- 8 - HTB M22x85 (F8T)

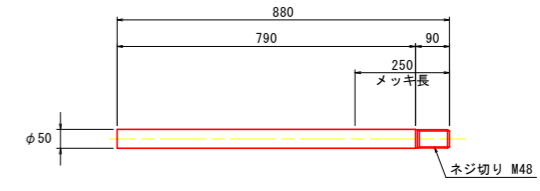
- 2 - PL 160x22x200 (SM490)
- 2 - PL 134x22x170 (SM490)
- 8 - HTB M22x95 (F8T)

調整補強材

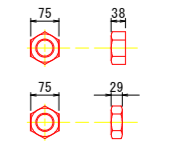


- 1 - PL 160x35x160 (SM490)
- 1 - PL 160x16x160 (SM490)

アンカーボルト



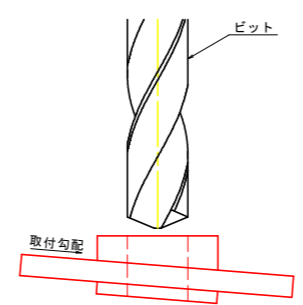
- 1 - アンカーバー φ50、L=880 (S35CN)



- 1 - ナット (1種) M48 (SS400)
- 1 - ナット (3種) M48 (SS400)

- 1 - 産金 150x14x150 (SS400)

アンカーバー用孔明イメージ図



水平力分担構造の鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。
 付着量は、鋼材・その他は HDZ55 とし、
 ボルト・ナット類は、HDZ35 とする。
 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 () 内寸法は取付完了時の水平方向の寸法である。

実施設計図面

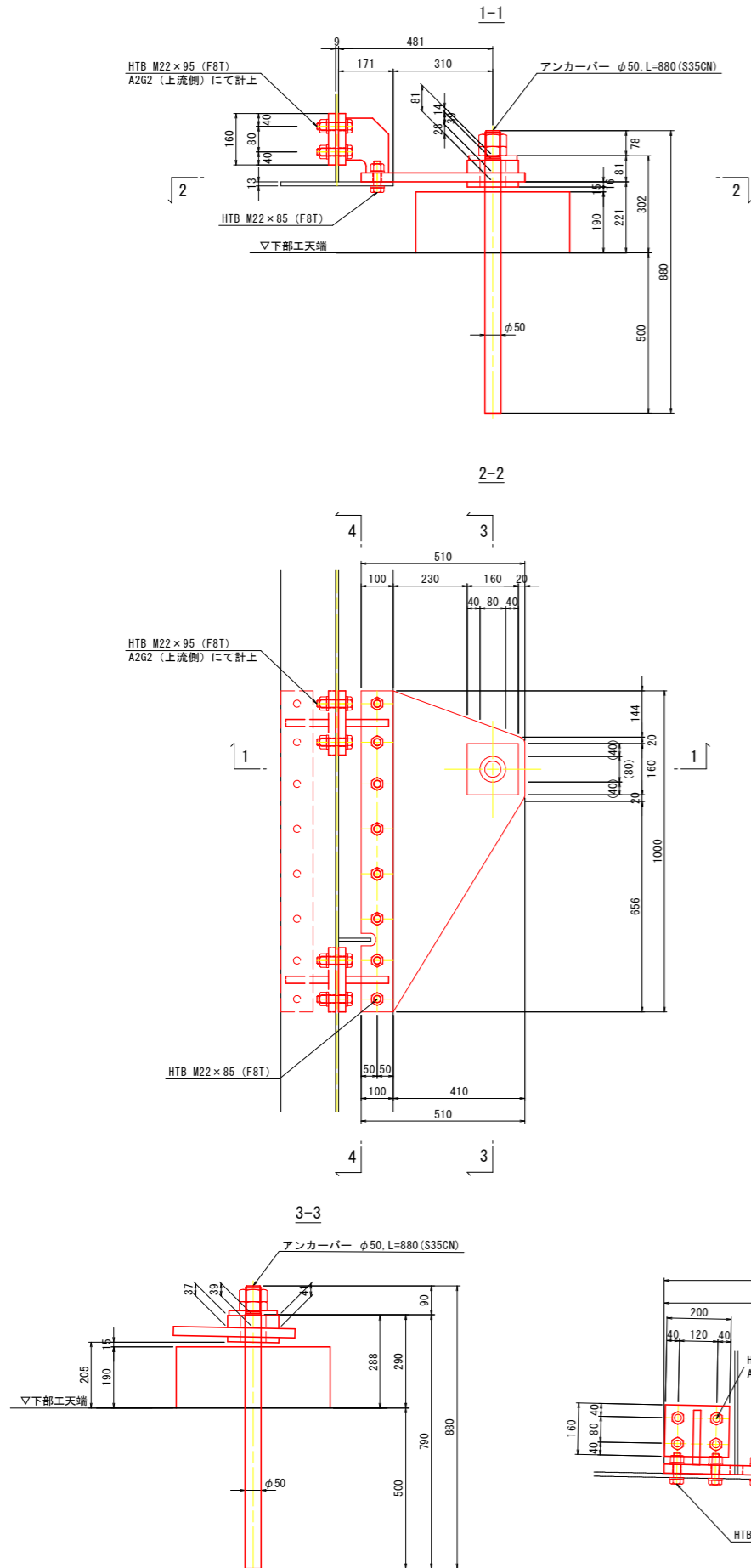
工事名	R2吉士 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	水平力分担構造加工図 (6/8)		
縮尺	S=1:10	図面番号	09/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

水平力分担構造加工図 (7/8)

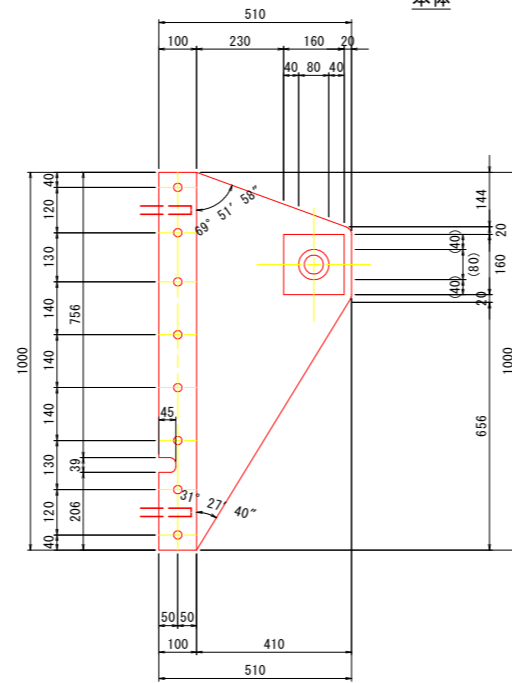
S=1:10

A2G2 (下流側)

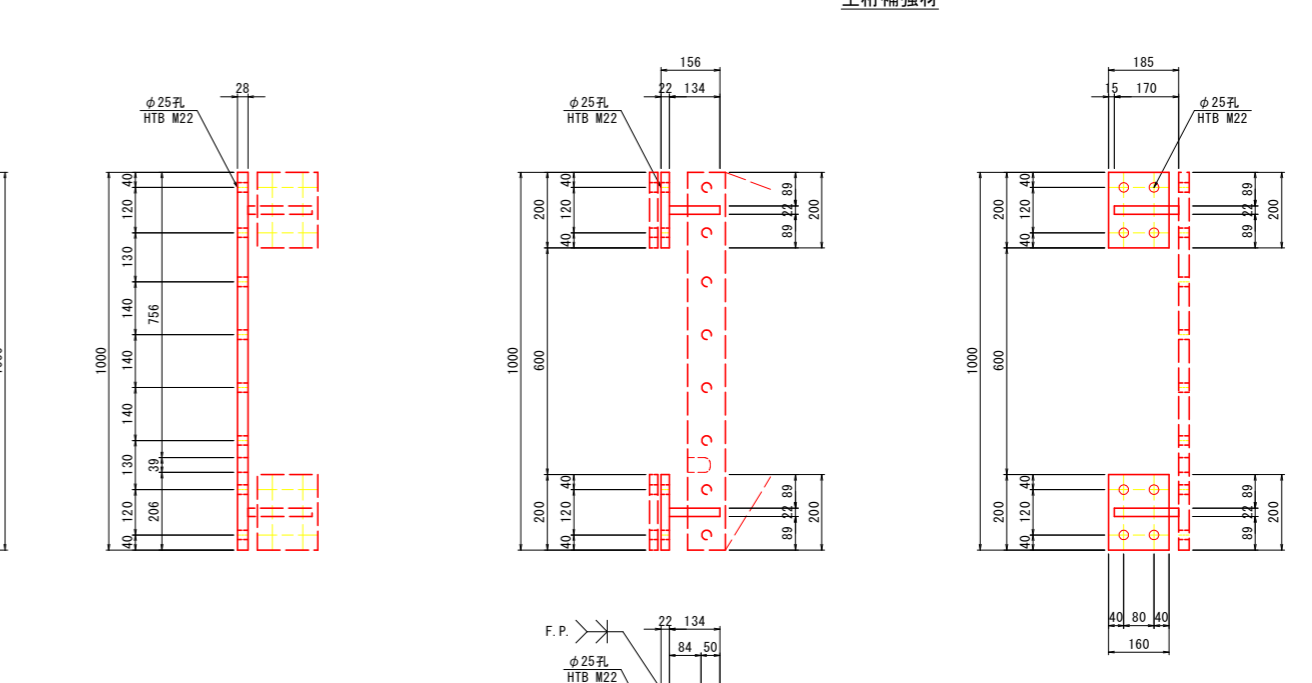
取付詳細図



本体

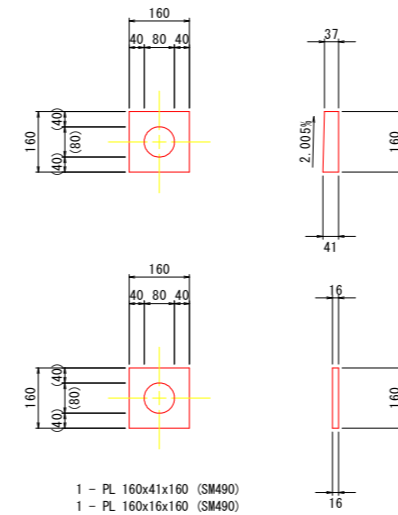


加工図



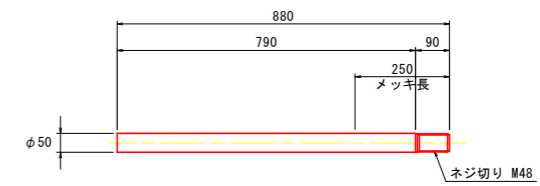
- 1 - PL 510x28x1000 (SM490)
- 8 - HTB M22x85 (F8T)

調整補強材

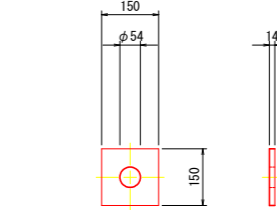


- 1 - PL 160x41x160 (SM490)
- 1 - PL 160x16x160 (SM490)

アンカーボルト

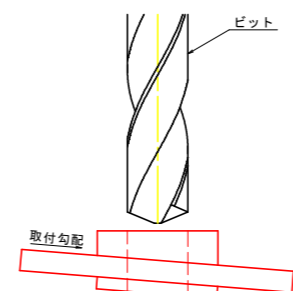


- 1 - アンカーバー φ50, L=880 (S35CN)



- 1 - 産金 150x14x150 (SS400)

アンカーバー用孔明イメージ図



水平力分担構造の鋼部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。
 付着量は、鋼材・その他は HDZ55 とし、
 ボルト・ナット類は、HDZ35 とする。
 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 () 内寸法は取付完了時の水平方向の寸法である。

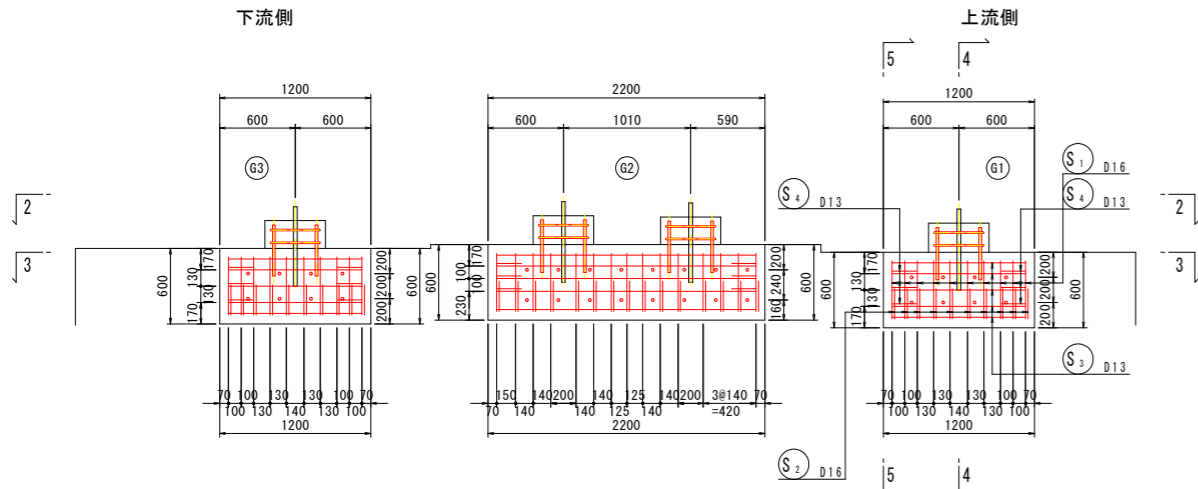
実施設計図面

工事名	R2 吉土 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	水平力分担構造加工図 (7/8)		
縮尺	S=1:10	図面番号	10/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

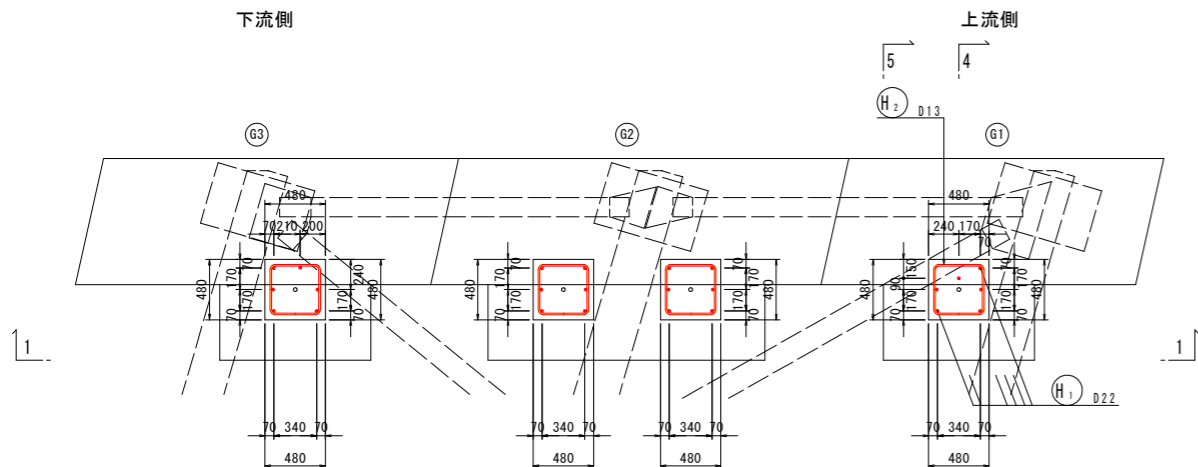
A1橋台RC拡幅構造配筋図 (1/6)

(A1-G1)

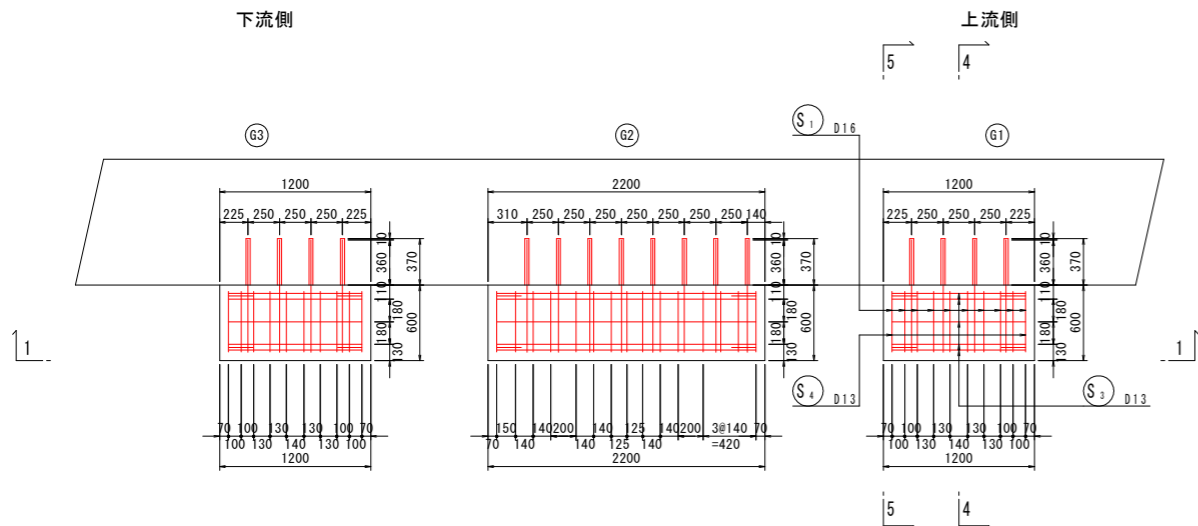
正面図 S=1:30
1-1



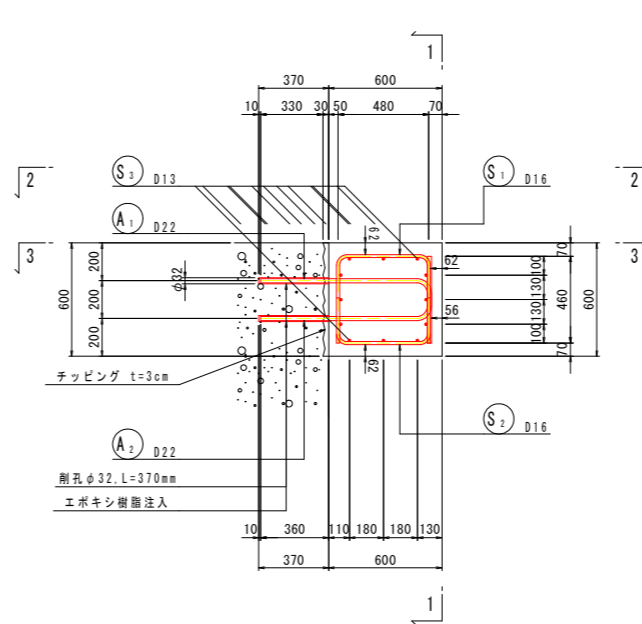
平面図 S=1:30
2-2



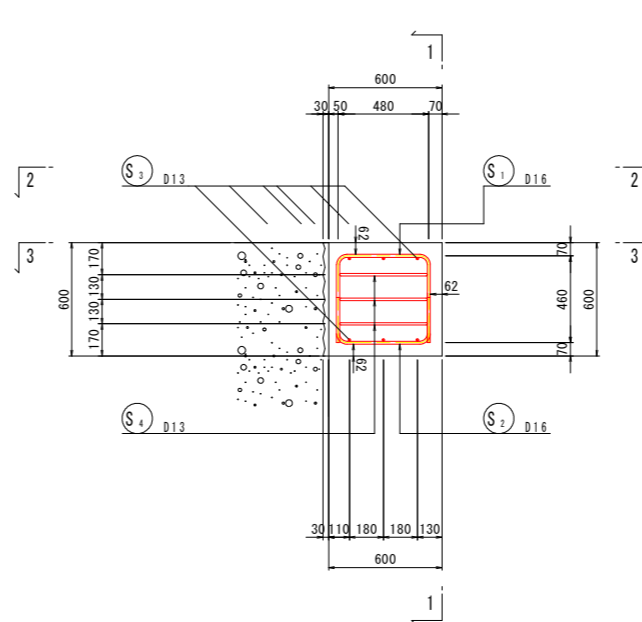
平面図 S=1:30
3-3



断面図 S=1:20
4-4

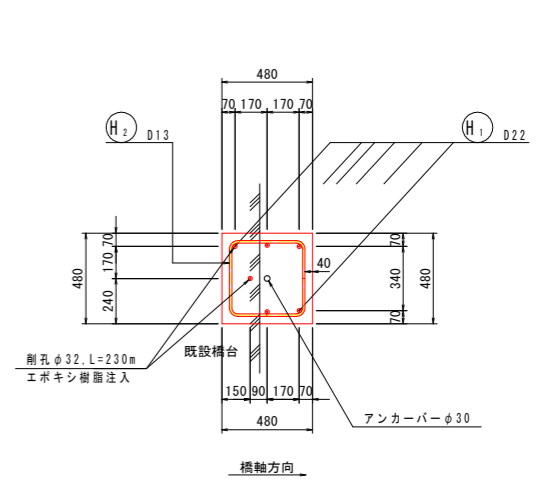


側面図 S=1:20
5-5

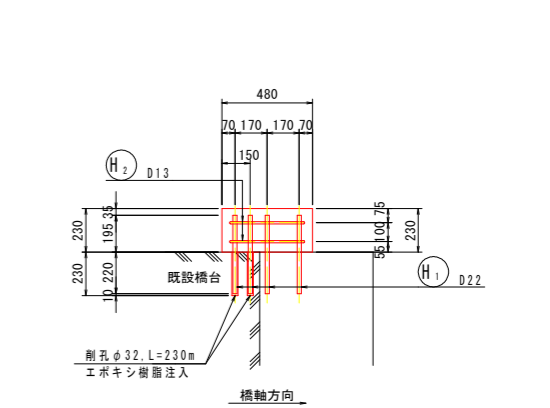


アンカー設置ブロック配筋図

平面図 S=1:20
2-2



側面図 S=1:20
5-5



注記)

- 1) コンクリート強度: $\sigma_{ck}=24N/mm^2$
- 2) 使用鉄筋: SD345
- 3) RC拡幅を実施するに当たり、現地下部工形状を調査の上、最終決定すること。
- 4) RC拡幅部のアンカー位置を変更する場合、再計算を行うこと。
- 5) 下部工を削孔する時は、鉄筋探索を行い既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 6) RC拡幅と一体化させる既設たて壁面にチップングを実施し、打継ぎ面に適切な処置を施すこと。
- 7) チップングは、アンカーバーと既設橋台の間にコンクリートを打設できるように30mm程度行う。
- 8) RC拡幅部に水平力分担構造を設置する。このため、施工手順を十分検討すること。
水平力分担構造設置位置等については、水平力分担構造一般図を参照。

実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A1橋台RC拡幅構造配筋図(1/6)		
縮尺	図示	図面番号	13/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

A1橋台RC拡幅構造配筋図 (2/6)

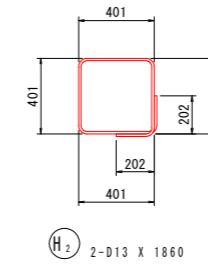
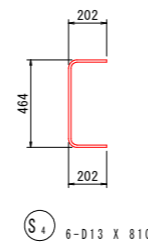
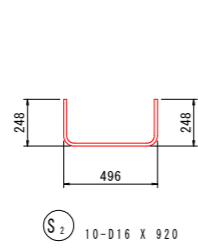
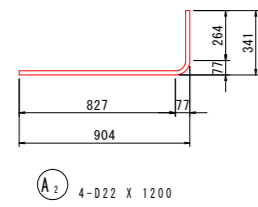
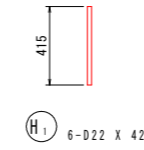
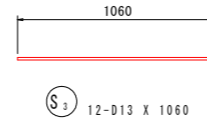
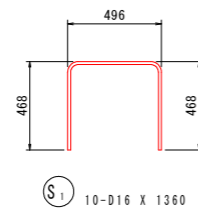
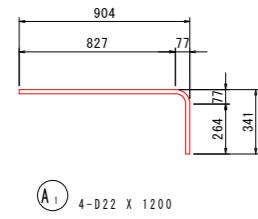
(A1-G1)

S=1:20

鉄筋加工図

(RC拡幅構造)

(アンカー設置ブロック)



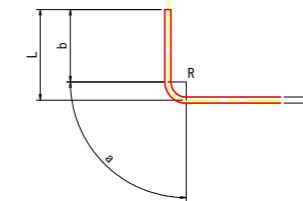
鉄筋質量表

A1-G1 1箇所当り

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D22	1200	4	3.04	3.65	15	┌
A ₂	D22	1200	4	3.04	3.65	15	┌
							30
H ₁	D22	420	6	3.04	1.28	8	
H ₂	D13	1860	2	0.995	1.85	4	□
							12
S ₁	D16	1360	10	1.56	2.12	21	└
S ₂	D16	920	10	1.56	1.44	14	└
S ₃	D13	1060	12	0.995	1.05	13	—
S ₄	D13	810	6	0.995	0.806	5	└
							53
合計 D22				38	kg		
D16				35	kg		
D13				22	kg		
総質量				95	kg		

フック加工要領図

直角フック	D22	D16	D13
a	103	75	61
b	264	192	156
R	66	48	39
L	330	240	195



注記)

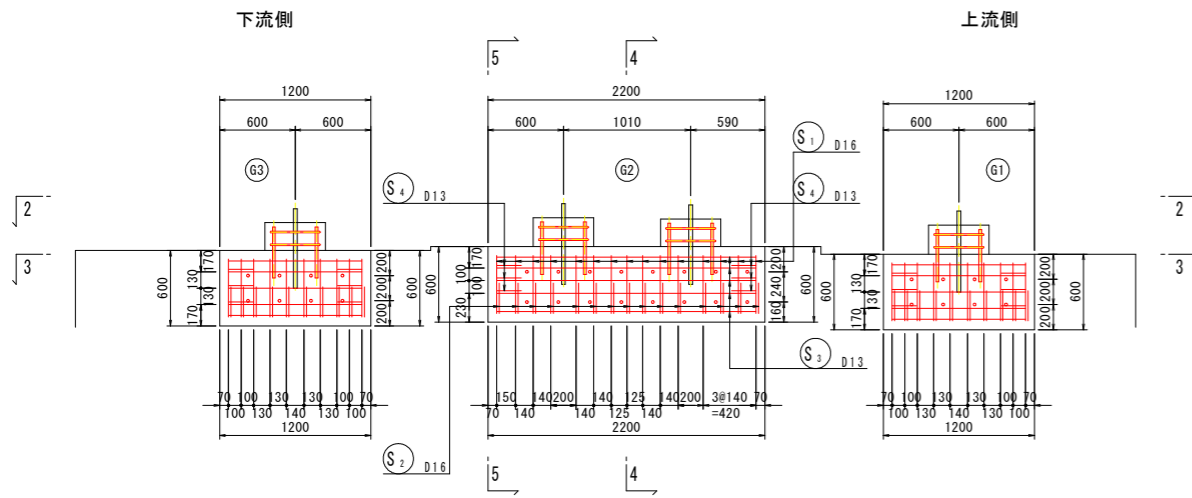
実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A1橋台RC拡幅構造配筋図(2/6)		
縮尺	S=1:20	図面番号	14/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

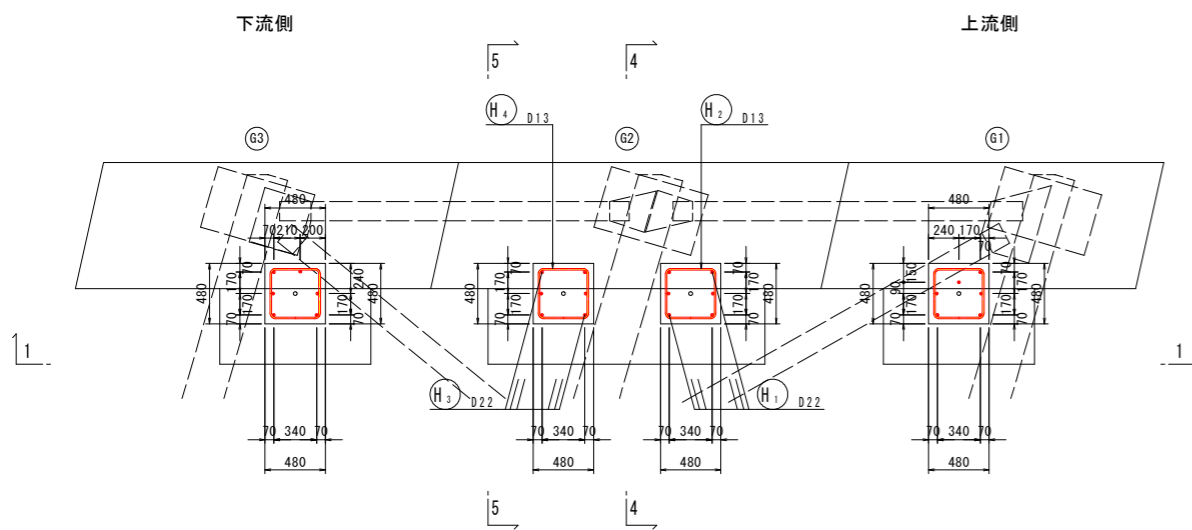
A1橋台RC拡幅構造配筋図 (3/6)

(A1-G2)

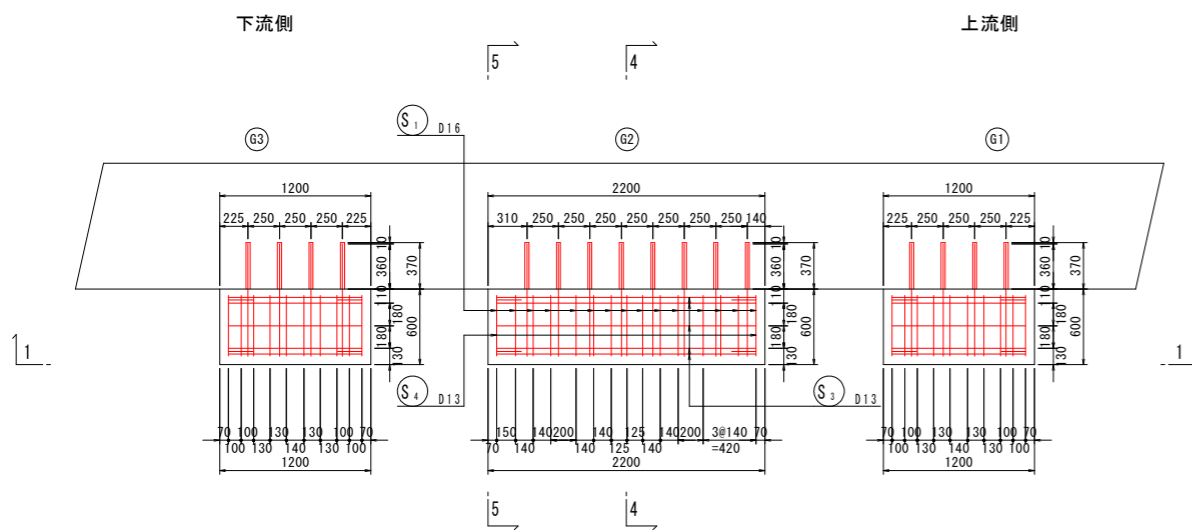
正面図 S=1:30
1-1



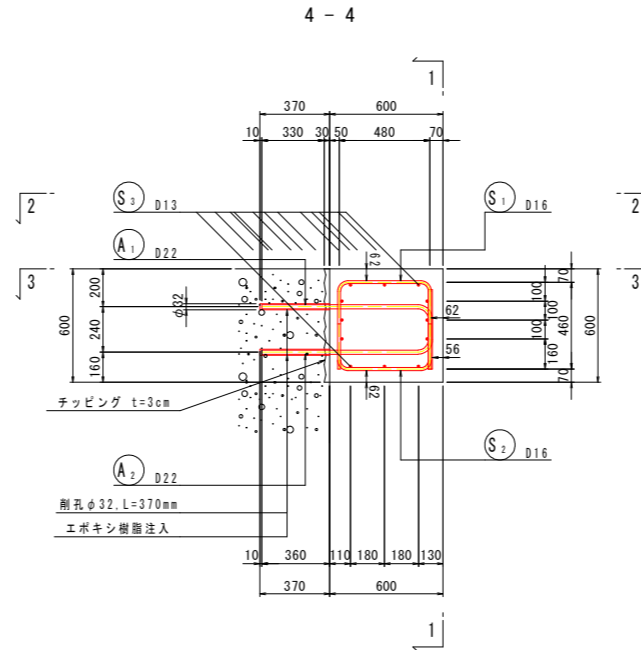
平面図 S=1:30
2-2



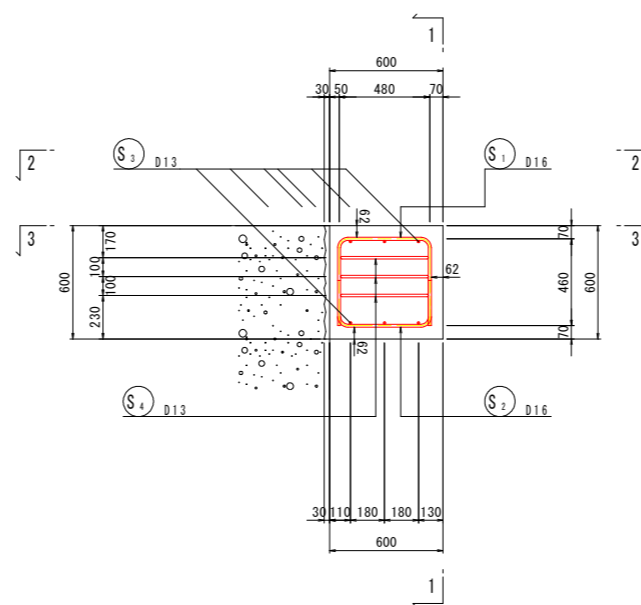
平面図 S=1:30
3-3



断面図 S=1:20
4-4

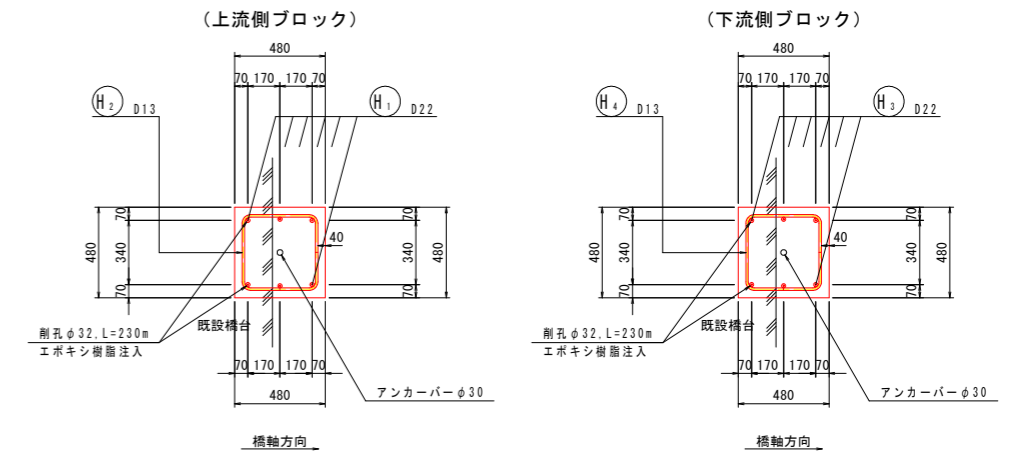


側面図 S=1:20
5-5

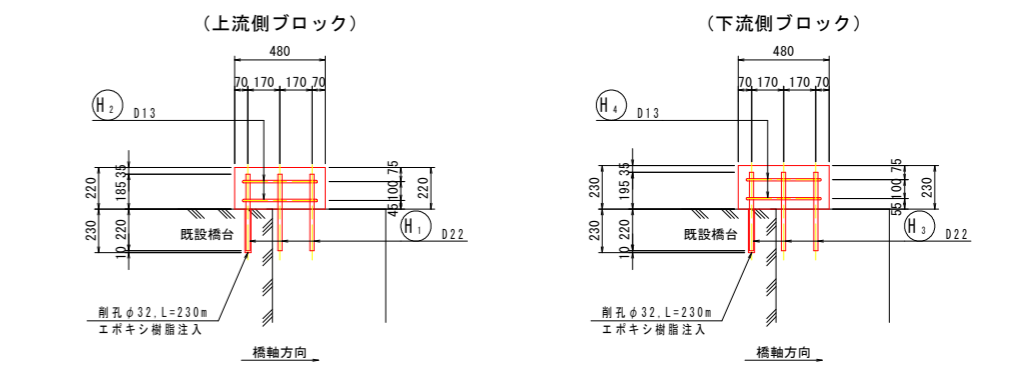


アンカー設置ブロック配筋図

平面図 S=1:20
2-2



側面図 S=1:20
5-5



実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A1橋台RC拡幅構造配筋図(3/6)		
縮尺	図示	図面番号	15/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

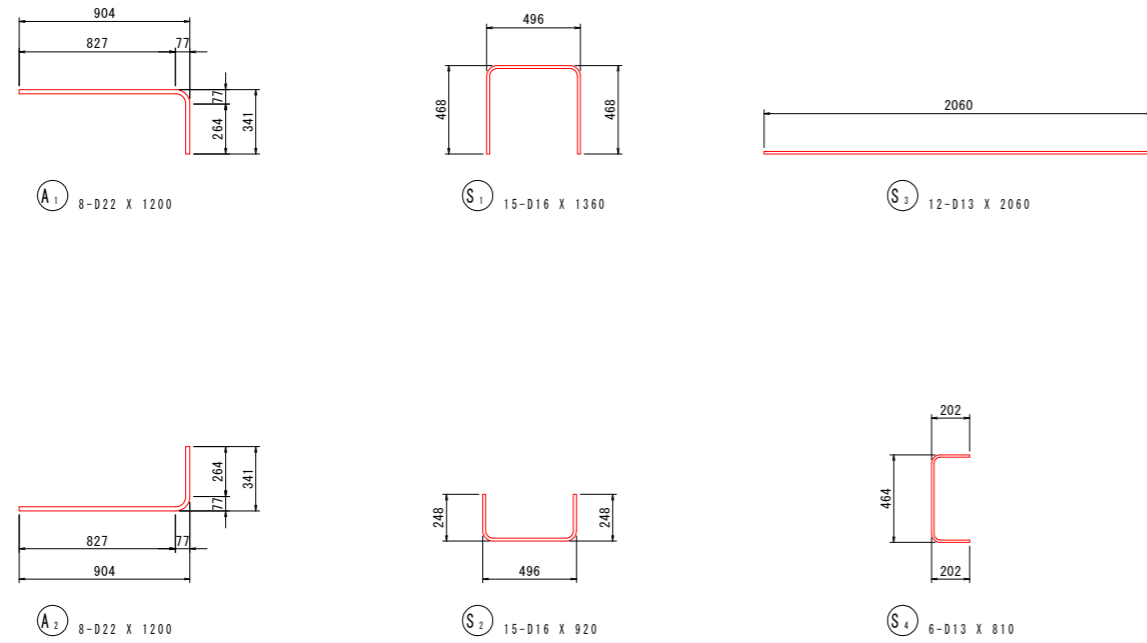
A1橋台RC拡幅構造配筋図 (4/6)

(A1-G2)

S=1:20

鉄筋加工図

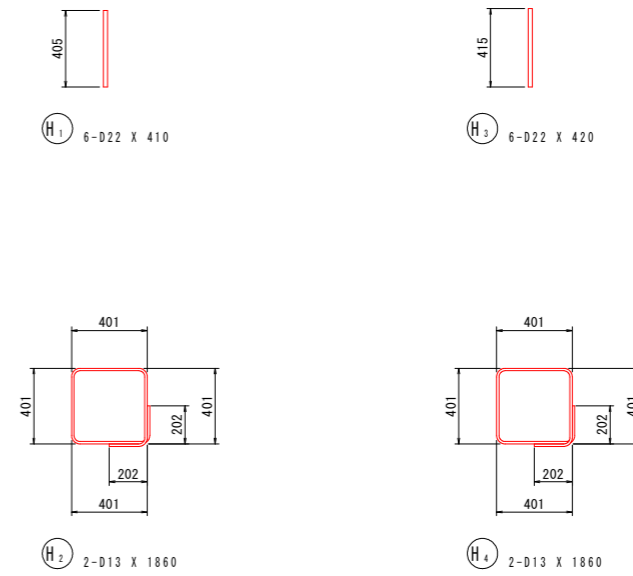
(RC拡幅構造)



(アンカー設置ブロック)

(上流側ブロック)

(下流側ブロック)



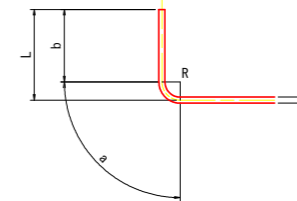
鉄筋質量表

A1-G3 1箇所当り

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D22	1200	8	3.04	3.65	29	┌┐
A ₂	D22	1200	8	3.04	3.65	29	└└
58							
H ₁	D22	410	6	3.04	1.25	8	┆
H ₂	D13	1860	2	0.995	1.85	4	┆
H ₃	D22	420	6	3.04	1.28	8	┆
H ₄	D13	1860	2	0.995	1.85	4	┆
24							
S ₁	D16	1360	15	1.56	2.12	32	┌┐
S ₂	D16	920	15	1.56	1.44	22	┌┐
S ₃	D13	2060	12	0.995	2.05	25	—
S ₄	D13	810	6	0.995	0.806	5	┌┐
84							
合計				D22	74 kg		
				D16	54 kg		
				D13	38 kg		
総質量				166 kg			

フック加工要領図

直角フック	D22	D16	D13
a	103	75	61
b	264	192	156
R	66	48	39
L	330	240	195



実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A1橋台RC拡幅構造配筋図(4/6)		
縮尺	S=1:20	図面番号	16/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

A1橋台RC拡幅構造配筋図 (6/6)

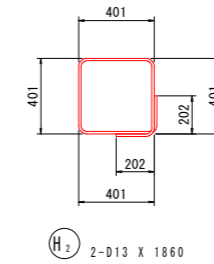
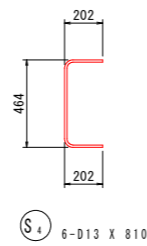
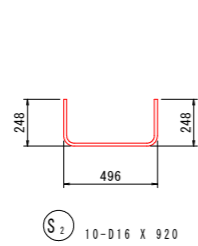
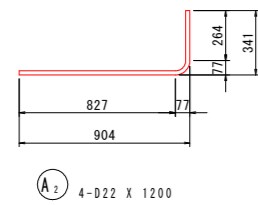
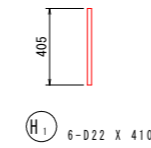
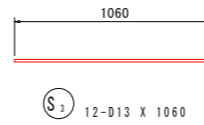
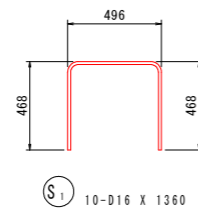
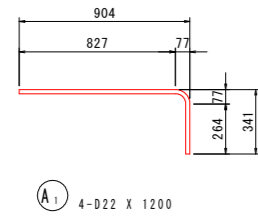
(A1-G3)

S=1:20

鉄筋加工図

(RC拡幅構造)

(アンカー設置ブロック)



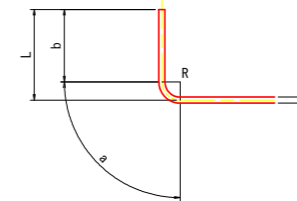
鉄筋質量表

A1-G3 1箇所当り

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D22	1200	4	3.04	3.65	15	
A ₂	D22	1200	4	3.04	3.65	15	
							30
H ₁	D22	410	6	3.04	1.25	8	
H ₂	D13	1860	2	0.995	1.85	4	
							12
S ₁	D16	1360	10	1.56	2.12	21	
S ₂	D16	920	10	1.56	1.44	14	
S ₃	D13	1060	12	0.995	1.05	13	
S ₄	D13	810	6	0.995	0.806	5	
							53
合計 D22				38	kg		
D16				35	kg		
D13				22	kg		
総質量				95	kg		

フック加工要領図

直角フック	D22	D16	D13
a	103	75	61
b	264	192	156
R	66	48	39
L	330	240	195



注記

- 1) コンクリート強度: $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
- 2) 使用鉄筋: SD345
- 3) RC拡幅を実施するに当り、現地下部工形状を調査の上、最終決定すること。
- 4) RC拡幅部のアンカー位置を変更する場合、再計算を行うこと。
- 5) 下部工を削孔する時は、鉄筋探査を行い既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 6) RC拡幅と一体化させる既設たて壁面にチッピングを実施し、打継ぎ面に適切な処置を施すこと。
- 7) チッピングは、アンカーバーと既設橋台の間にコンクリートを打設できるように30mm程度行う。
- 8) RC拡幅部に水平分担構造を設置する。このため、施工手順を十分検討すること。
水平分担構造設置位置等については、水平分担構造一般図を参照。

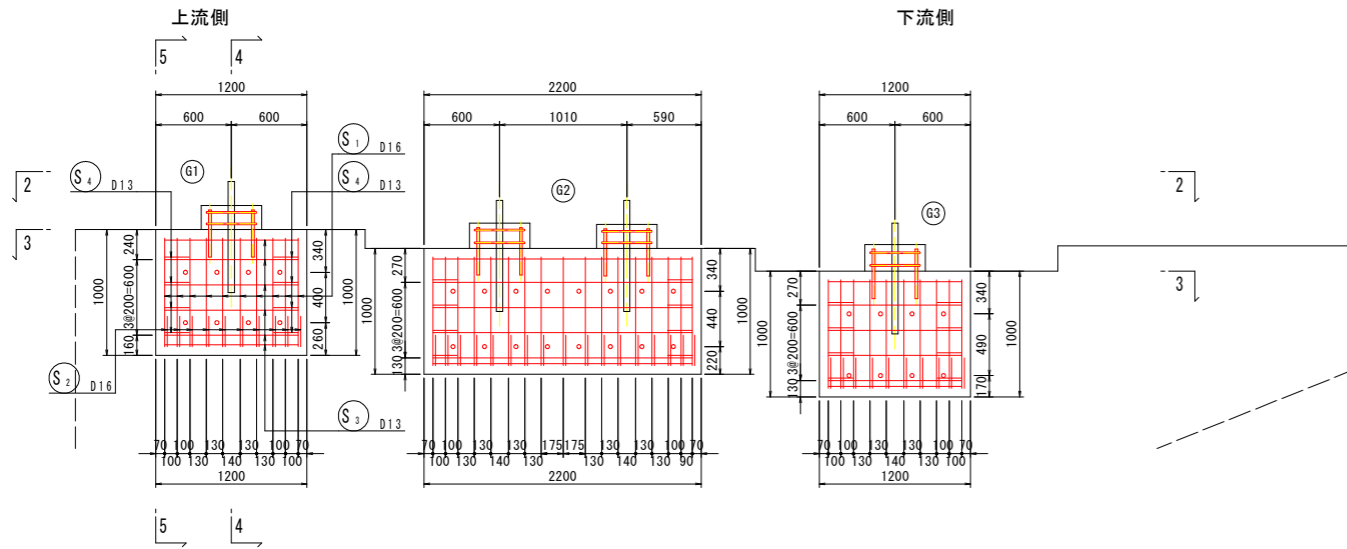
実施設計図面

工事名	R2吉土 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A1橋台RC拡幅構造配筋図(6/6)		
縮尺	S=1:20	図面番号	18/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

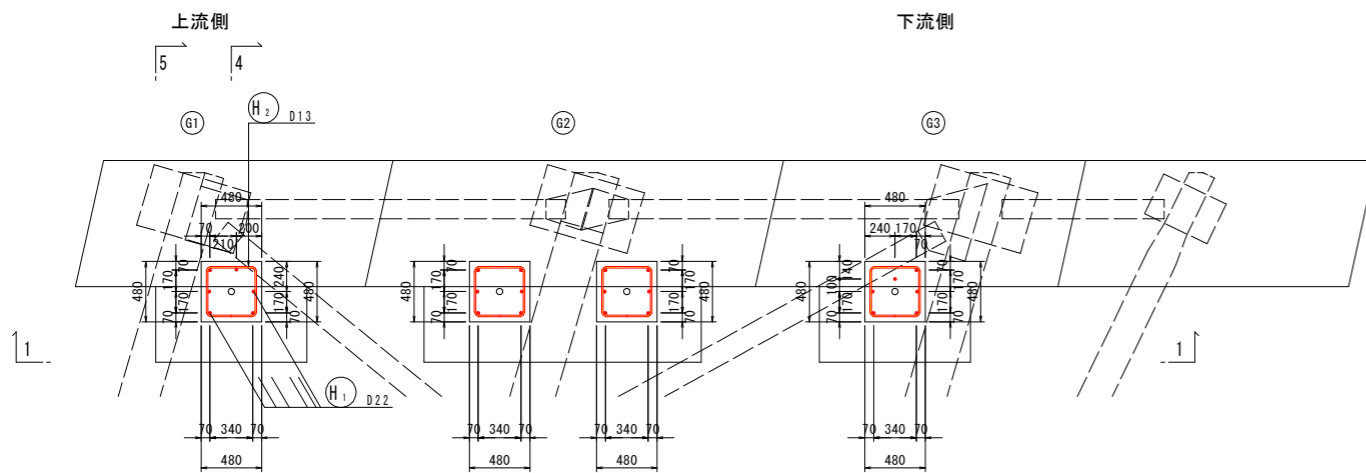
A2橋台RC拡幅構造配筋図 (1/6)

(A2-G1)

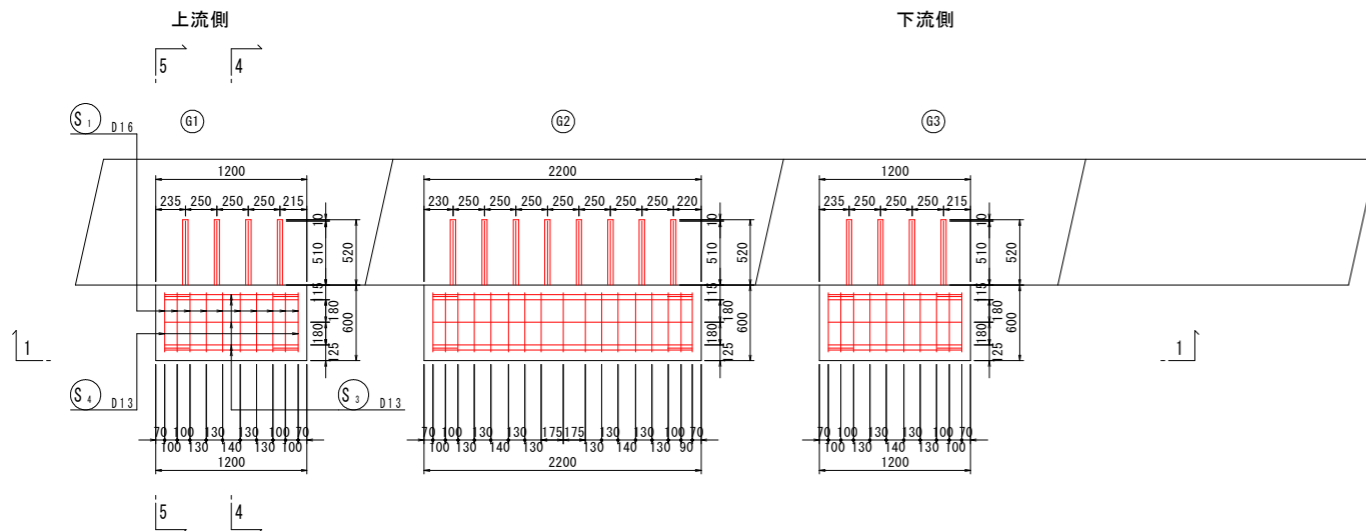
正面図 S=1:30
1-1



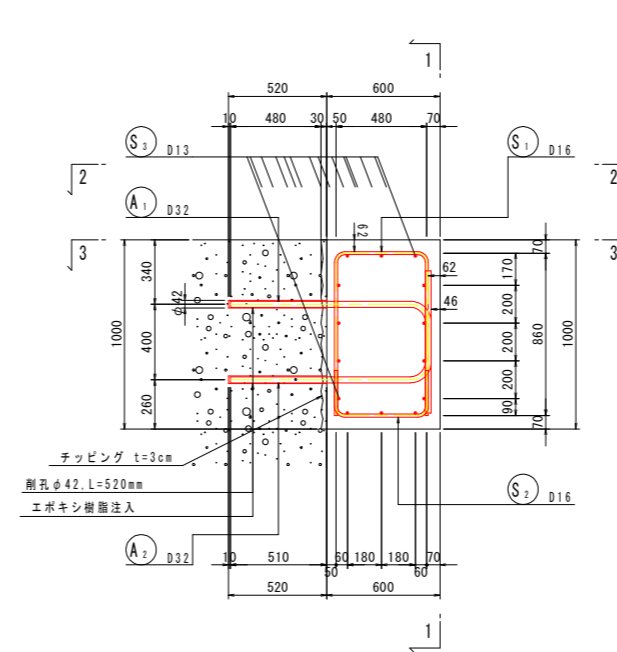
平面図 S=1:30
2-2



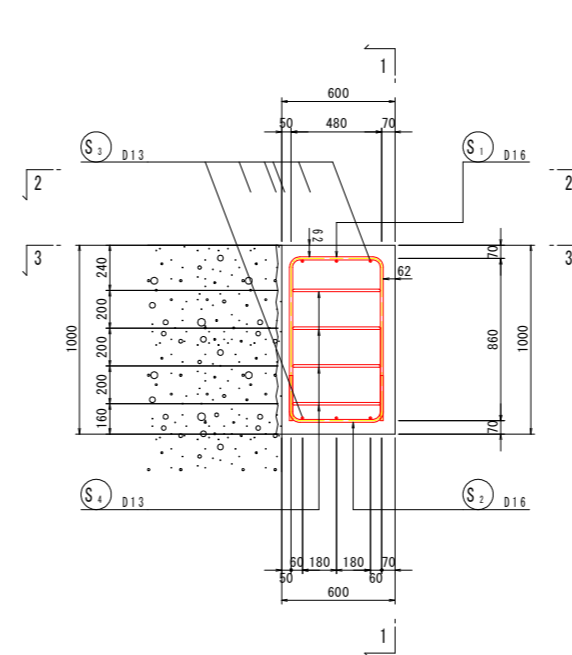
平面図 S=1:30
3-3



断面図 S=1:20
4-4

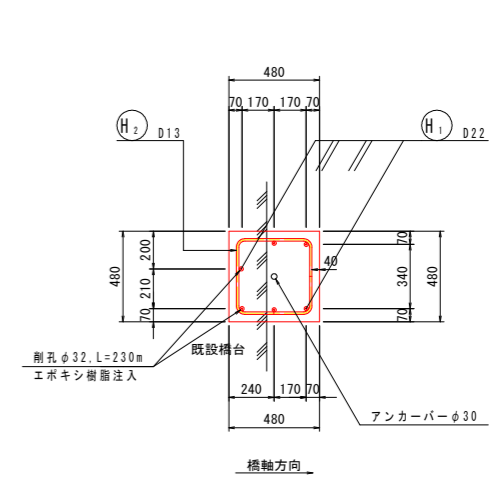


側面図 S=1:20
5-5

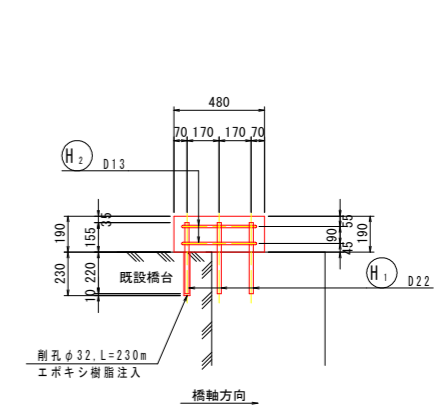


アンカー設置ブロック配筋図

平面図 S=1:20
2-2



側面図 S=1:20
5-5



実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋)		
	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A2橋台RC拡幅構造配筋図(1/6)		
縮尺	図示	図面番号	19/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

A2橋台RC拡幅構造配筋図 (2/6)

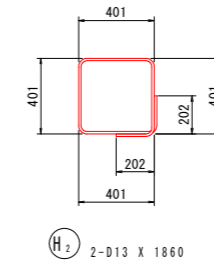
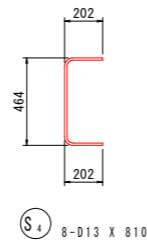
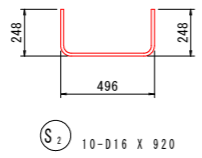
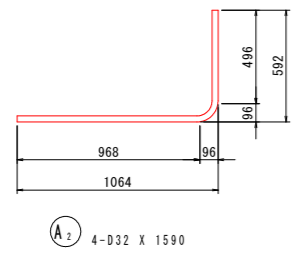
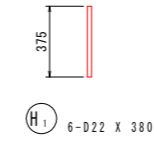
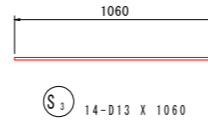
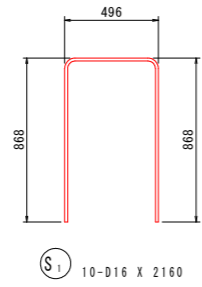
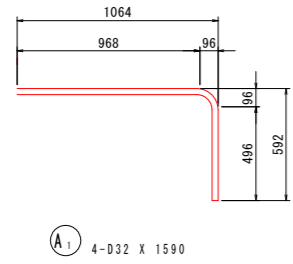
(A2-G1)

S=1:20

鉄筋加工図

(RC拡幅構造)

(アンカー設置ブロック)



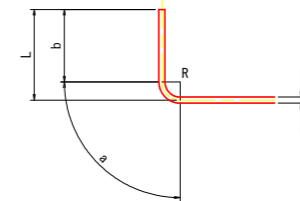
鉄筋質量表

A2-G1 1箇所当り

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D32	1590	4	6.23	9.91	40	┌
A ₂	D32	1590	4	6.23	9.91	40	└
80							
H ₁	D22	380	6	3.04	1.16	7	
H ₂	D13	1860	2	0.995	1.85	4	□
11							
S ₁	D16	2160	10	1.56	3.37	34	U
S ₂	D16	920	10	1.56	1.44	14	└
S ₃	D13	1060	14	0.995	1.05	15	—
S ₄	D13	810	8	0.995	0.806	6	C
69							
合計 D32			80 kg				
D22			7 kg				
D16			48 kg				
D13			25 kg				
総質量			160 kg				

フック加工要領図

直角フック	D32	D16	D13
a	150	75	61
b	384	192	156
R	96	48	39
L	480	240	195



実施設計図面

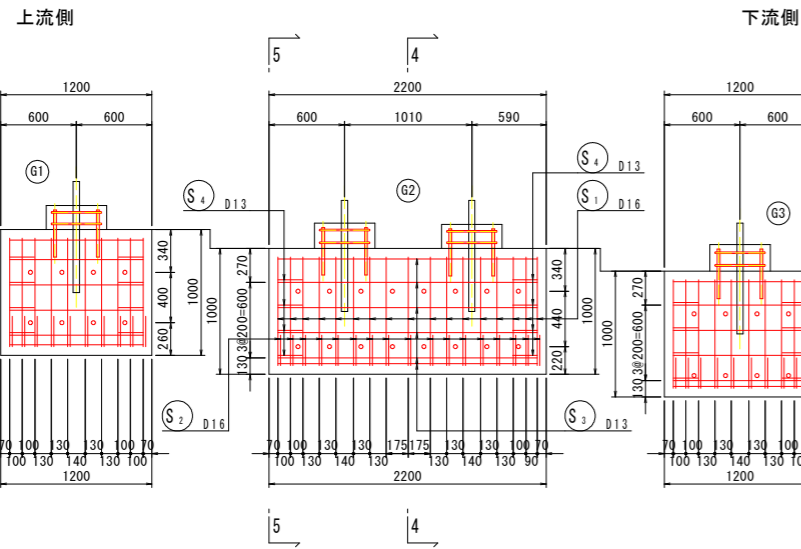
工事名	R2吉土 志度山川線 (一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)		
図面名	A2橋台RC拡幅構造配筋図 (2/6)		
縮尺	S=1:20	図面番号	20/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

A2橋台RC拡幅構造配筋図 (3/6)

(A2-G2)

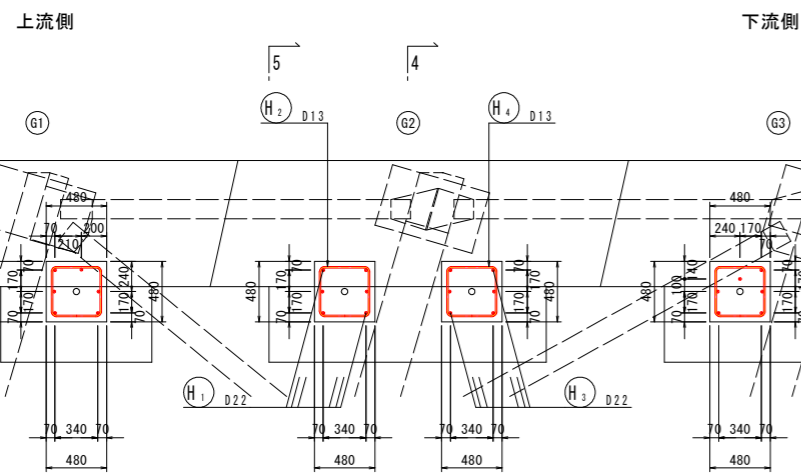
正面図 S=1:30

1-1



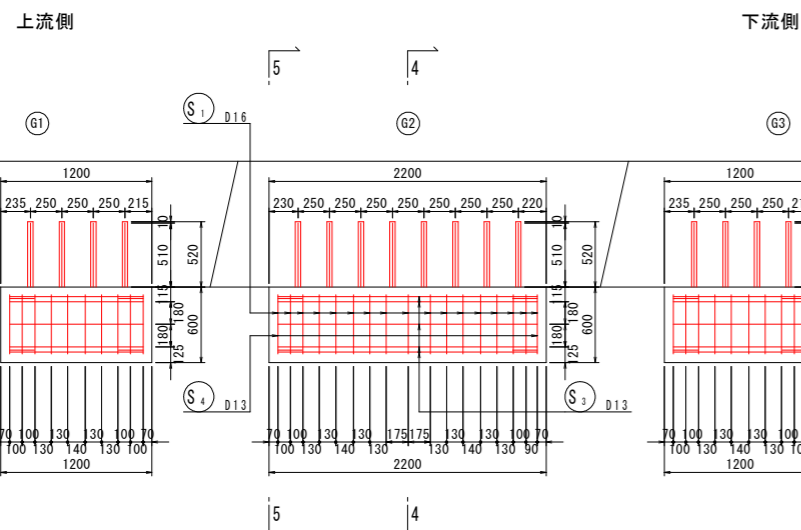
平面図 S=1:30

2-2



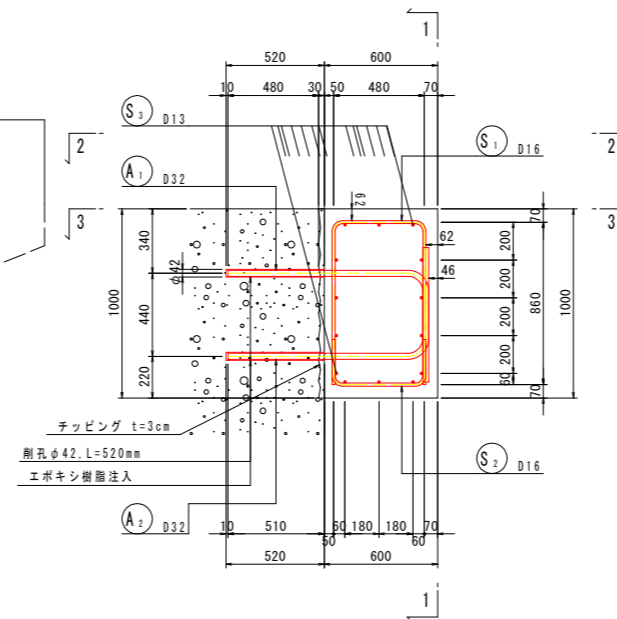
平面図 S=1:30

3-3



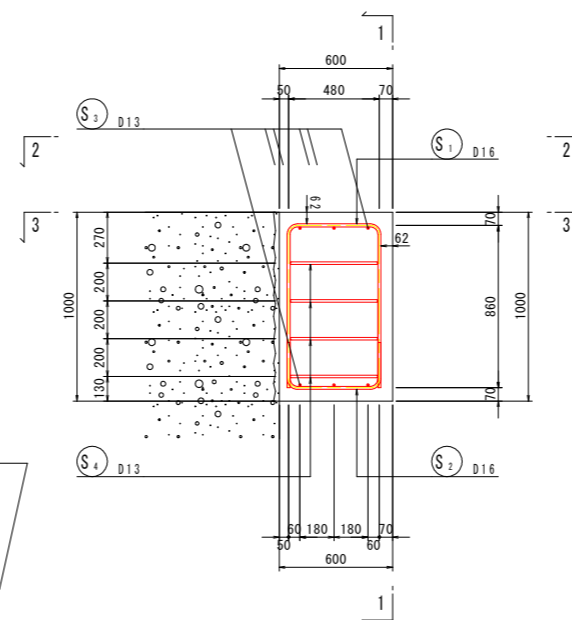
断面図 S=1:20

4-4



側面図 S=1:20

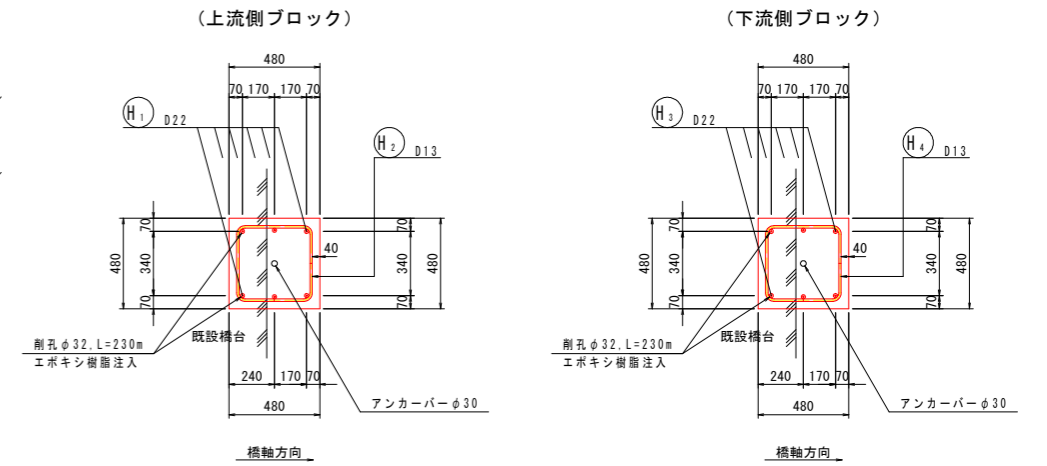
5-5



アンカー設置ブロック配筋図

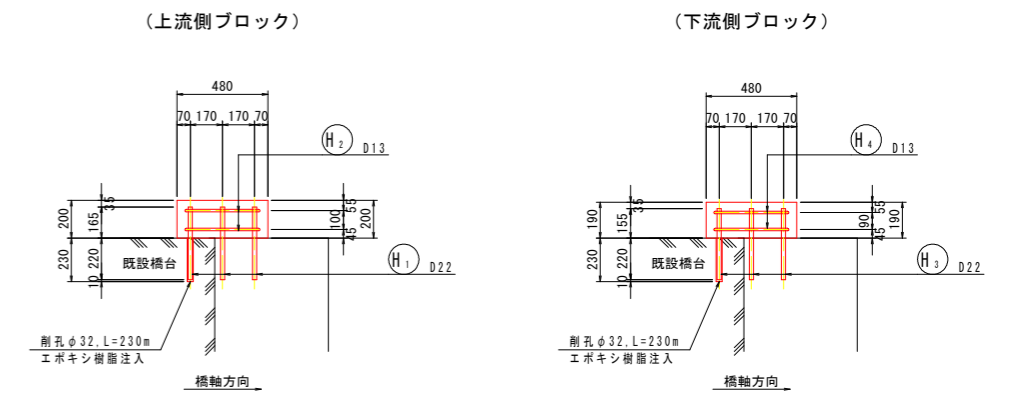
平面図 S=1:20

2-2



側面図 S=1:20

5-5



実施設計図面

工事名	R2吉土 志度山川線(一の瀬橋)		
路線名等	(主)志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A2橋台RC拡幅構造配筋図(3/6)		
縮尺	図示	図面番号	21/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

A2橋台RC拡幅構造配筋図 (4/6)

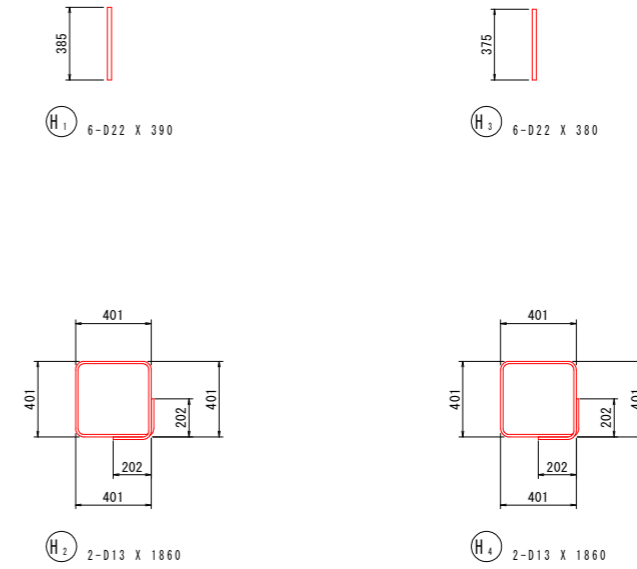
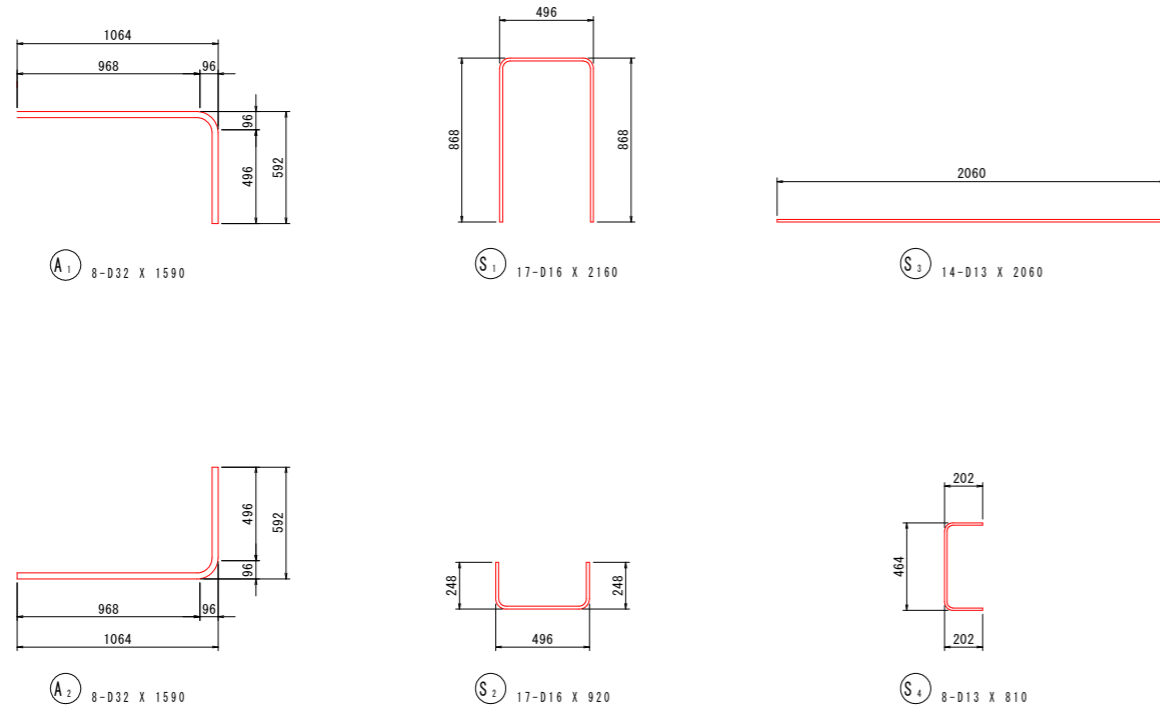
(A2-G2)

S=1:20

鉄筋加工図

(RC拡幅構造)

(アンカー設置ブロック)



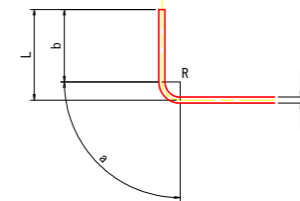
鉄筋質量表 A2-G2 1箇所当り

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D32	1590	8	6.23	9.91	79	┌
A ₂	D32	1590	8	6.23	9.91	79	└
158							
H ₁	D22	390	6	3.04	1.19	7	
H ₂	D13	1860	2	0.995	1.85	4	□
H ₃	D22	380	6	3.04	1.16	7	
H ₄	D13	1860	2	0.995	1.85	4	□
22							
S ₁	D16	2160	17	1.56	3.37	57	U
S ₂	D16	920	17	1.56	1.44	24	U
S ₃	D13	2060	14	0.995	2.05	29	—
S ₄	D13	810	8	0.995	0.806	6	C
116							
合計 D32				158 kg			
D22				14 kg			
D16				81 kg			
D13				43 kg			
総質量				296 kg			

フック加工要領図

直角フック

	D32	D16	D13
a	150	75	61
b	384	192	156
R	96	48	39
L	480	240	195



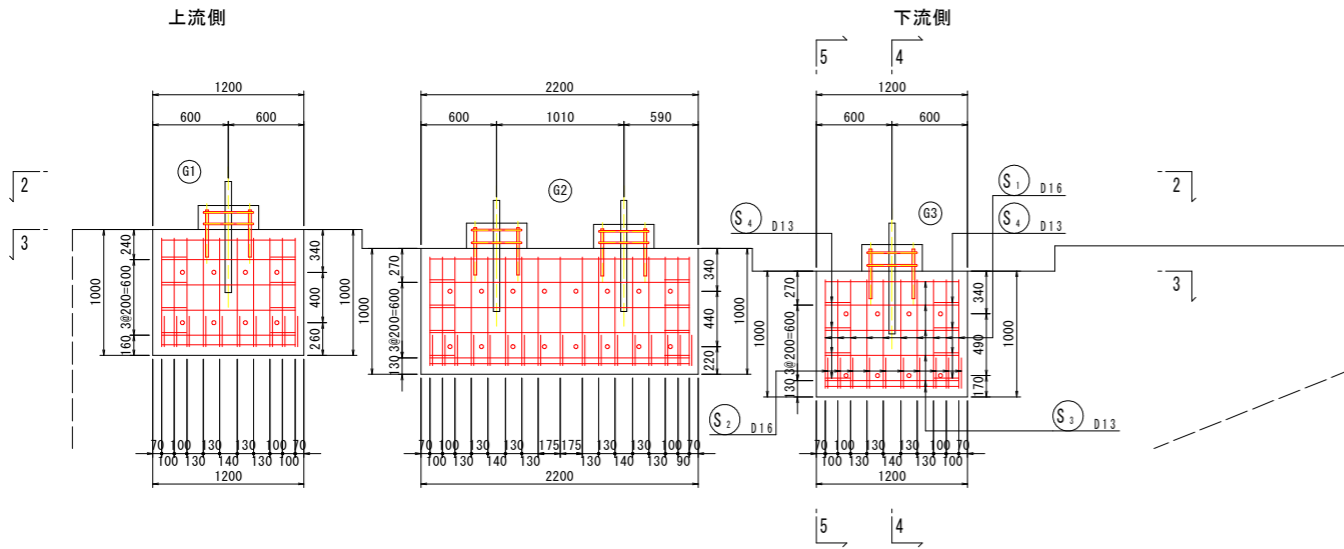
実施設計図面

工事名	R2吉土 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A2橋台RC拡幅構造配筋図(4/6)		
縮尺	S=1:20	図面番号	22/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

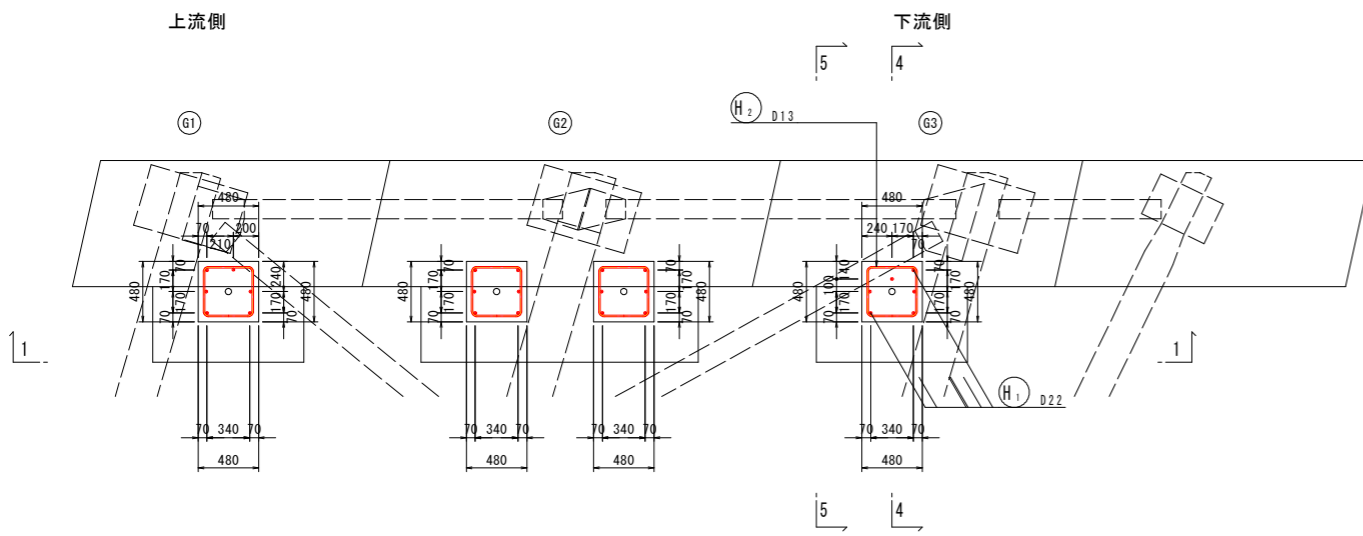
A2橋台RC拡幅構造配筋図 (5/6)

(A2-G3)

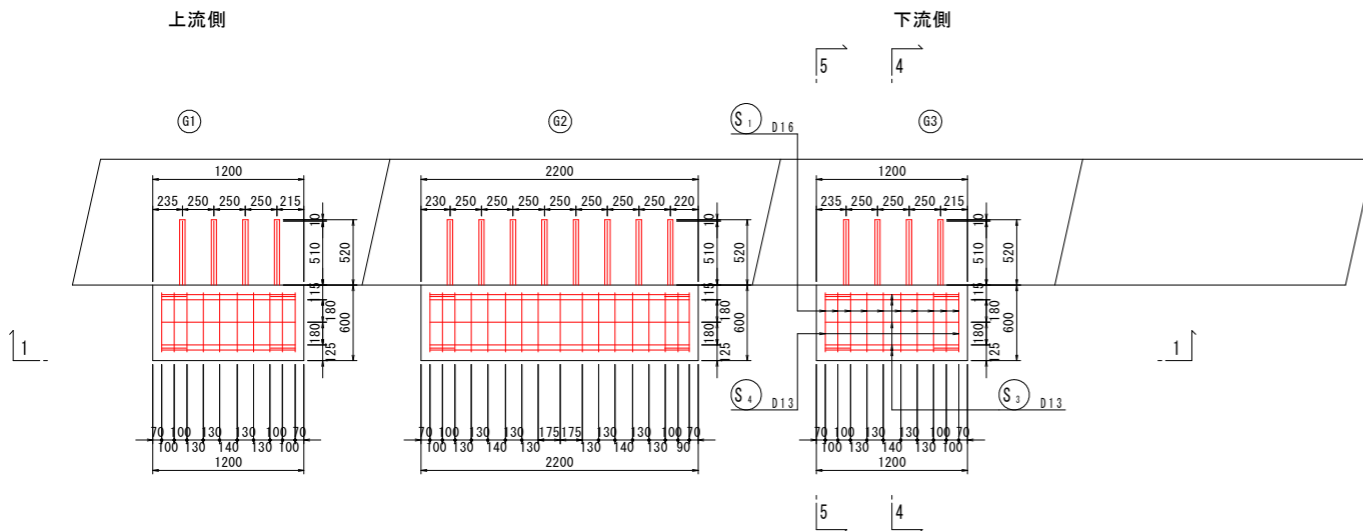
正面図 S=1:30
1-1



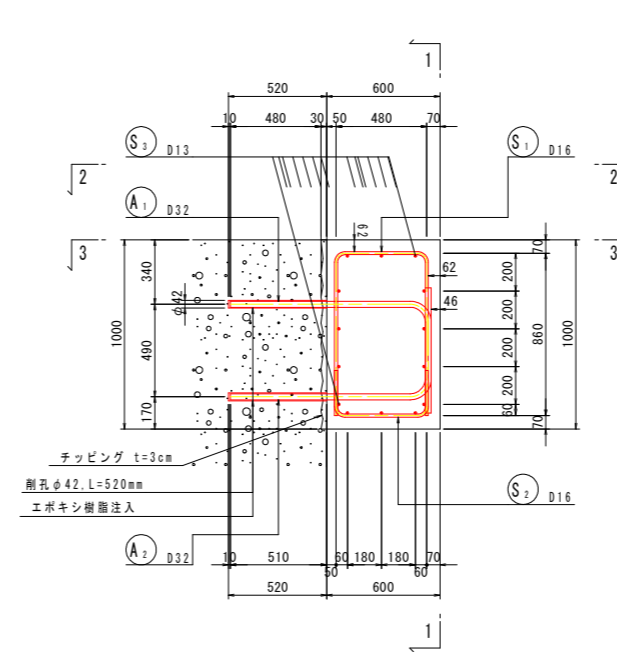
平面図 S=1:30
2-2



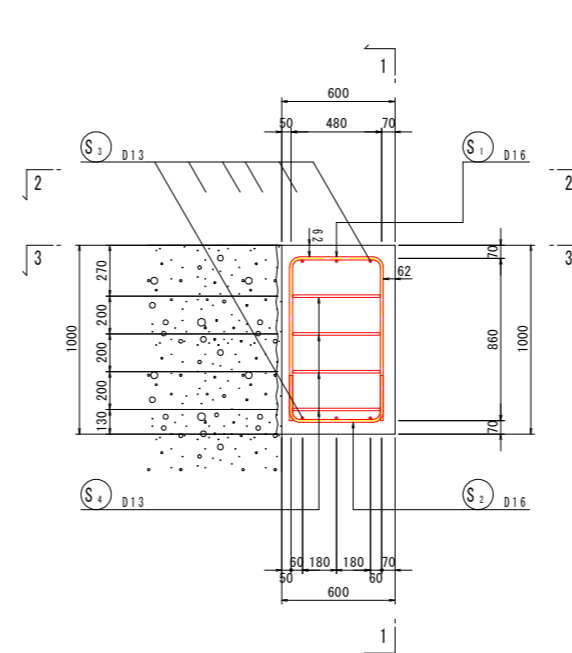
平面図 S=1:30
3-3



断面図 S=1:20
4-4

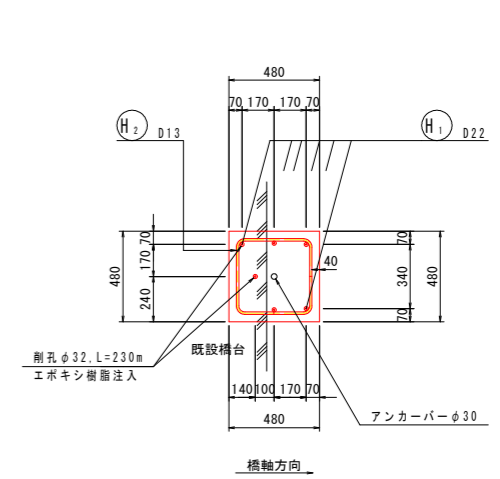


側面図 S=1:20
5-5

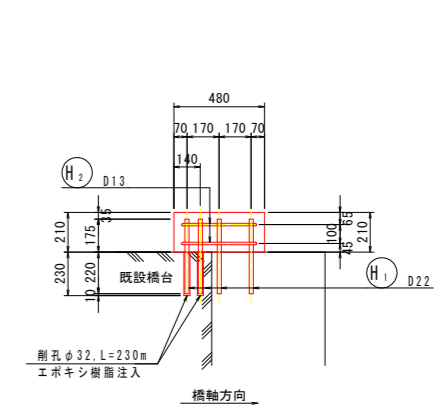


アンカー設置ブロック配筋図

平面図 S=1:20
2-2



側面図 S=1:20
5-5



実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A2橋台RC拡幅構造配筋図(5/6)		
縮尺	図示	図面番号	23/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

A2橋台RC拡幅構造配筋図 (6/6)

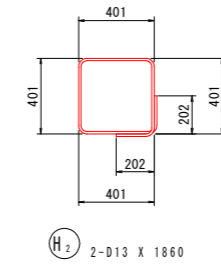
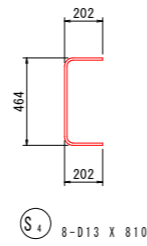
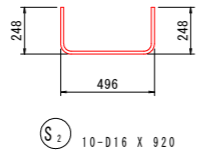
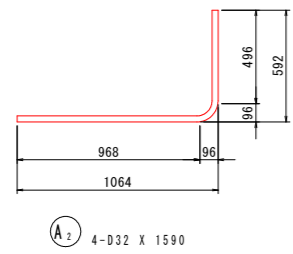
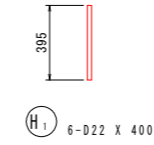
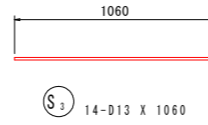
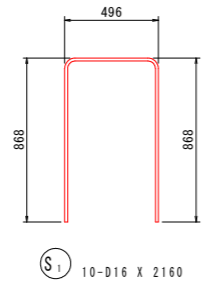
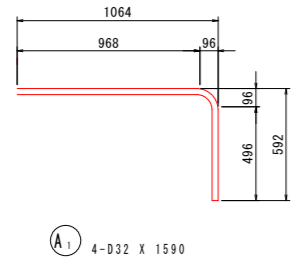
(A2-G3)

S=1:20

鉄筋加工図

(RC拡幅構造)

(アンカー設置ブロック)



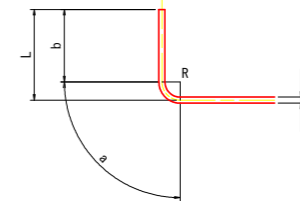
鉄筋質量表

A2-G3 1箇所当り

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A ₁	D32	1590	4	6.23	9.91	40	└┘
A ₂	D32	1590	4	6.23	9.91	40	└┘
80							
H ₁	D22	400	6	3.04	1.22	7	┆
H ₂	D13	1860	2	0.995	1.85	4	□
11							
S ₁	D16	2160	10	1.56	3.37	34	└┘
S ₂	D16	920	10	1.56	1.44	14	└┘
S ₃	D13	1060	14	0.995	1.05	15	—
S ₄	D13	810	8	0.995	0.806	6	┆
69							
合計 D32			80	kg			
D22			7	kg			
D16			48	kg			
D13			25	kg			
総質量			160	kg			

フック加工要領図

直角フック	D32	D16	D13
a	150	75	61
b	384	192	156
R	96	48	39
L	480	240	195



実施設計図面

工事名	R2吉土 志度山川線(一の瀬橋)		
路線名等	阿波・阿波 橋梁耐震工事		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	A2橋台RC拡幅構造配筋図(6/6)		
縮尺	S=1:20	図面番号	24/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

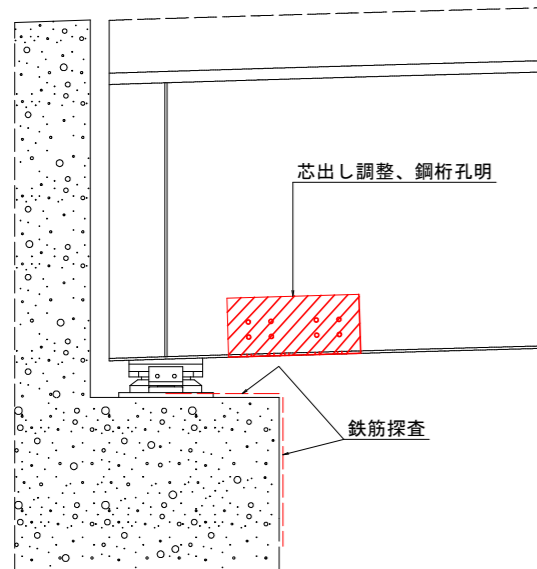
施工手順図（案）および施工注意事項

施工手順（案）

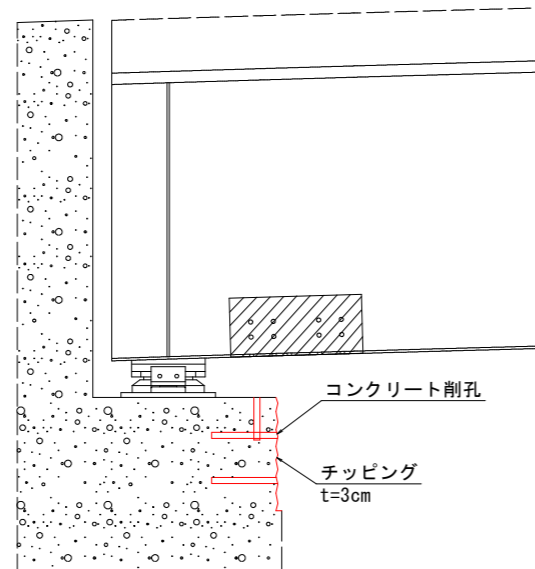
設計段階での施工手順（案）を示す。なお、現場状況を確認のうえ適宜変更を行うこと。

- STEP1 既設構造物の寸法確認（橋台および鋼桁）および鉄筋探査を実施する。差異の確認後、芯出し調整および鋼桁孔明を行う。
- STEP2 鉄筋探査後、既設橋台のコンクリート削孔を行う。続いてチッピングを実施する。
- STEP3 鋼桁に部材（取付プレート）を設置する。（下部工側の配筋終了後では、プレートの取付が困難となる可能性があるため）
- STEP4 アンカー筋挿入後、配筋を行う。また、アンカーバーを設置する。
- STEP5 型枠設置後、コンクリートを打設する。

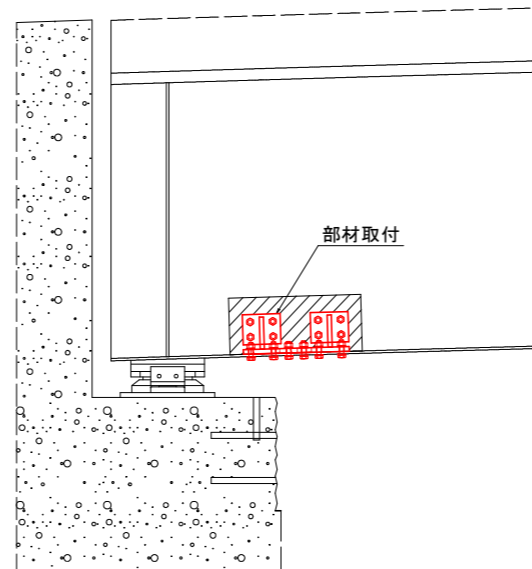
STEP.1 鉄筋探査、芯出し調整、鋼桁孔明



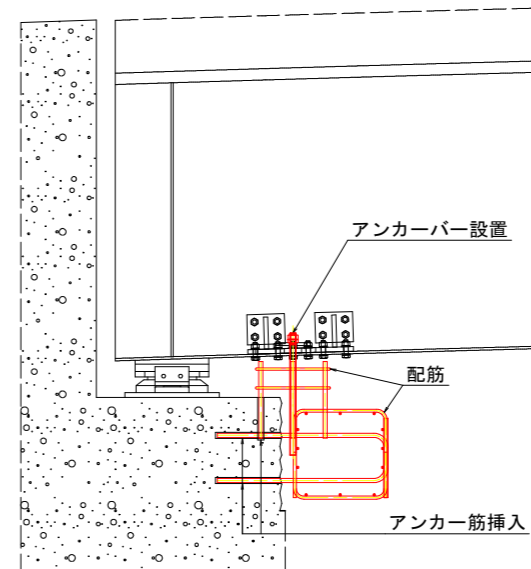
STEP.2 コンクリート削孔およびチッピング



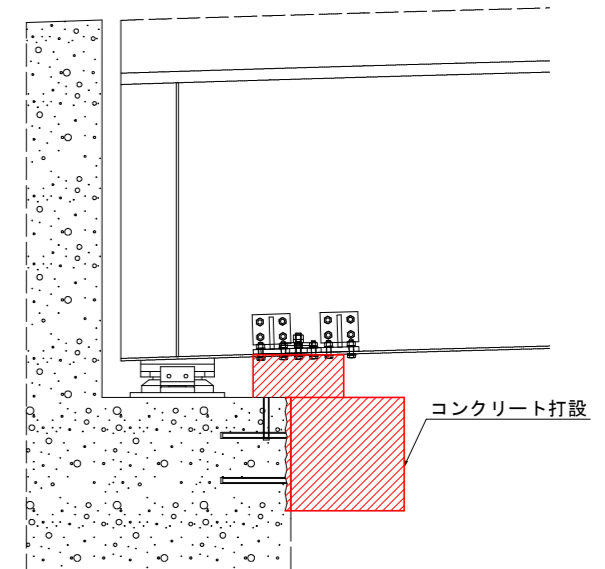
STEP.3 部材取付



STEP.4 アンカー筋挿入、配筋、アンカーバー設置



STEP.5 コンクリート打設



施工注意事項

※変更を伴う場合は、監督職員との協議を実施すること。

■取付プレートについて

- 上部工プレートの製作前には、現地での寸法確認を実施すること。現地調査の結果を踏まえ、上部工側のプレート形状を決定すること。
- 形状寸法に変更が生じた場合は、再度計算を実施し水平力分担構造の安全性の確認を行う。

■アンカー設置ブロックについて

- 削孔前には、現地での寸法確認および鉄筋探査を実施すること。現地調査の結果を踏まえ、コンクリート削孔位置の決定を行う。
- 既設橋台の鉄筋等により橋座面のコンクリート削孔が困難な場合、削孔位置を変更すること。
- h3の寸法が設計図と異なる場合は、設計図に示されたh1を確保した上でh2にて調整を行うこと。
- アンカーバーがアンカー設置ブロックの中心に来るようにすること。

■RC拡幅構造のアンカーについて

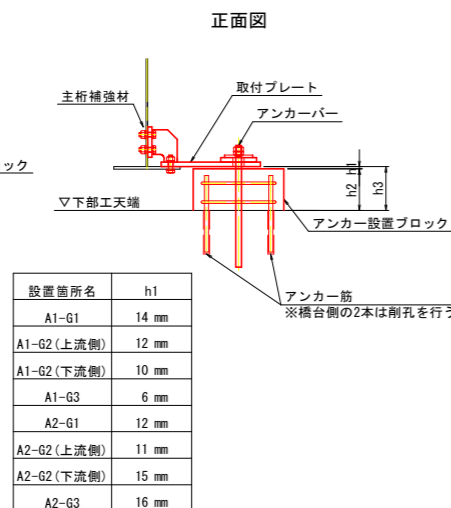
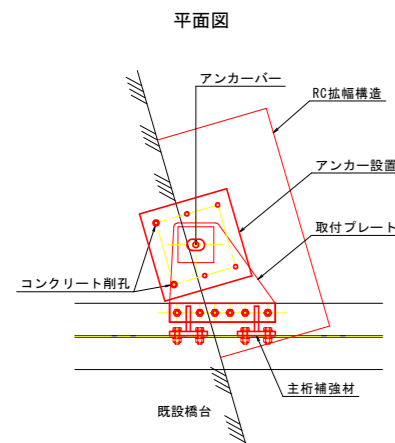
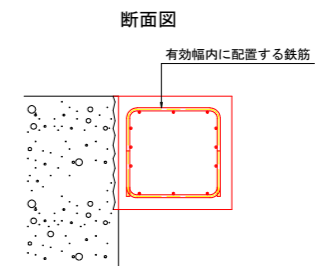
- 削孔前には、現地での寸法確認および鉄筋探査を実施すること。現地調査の結果を踏まえ、コンクリート削孔位置の決定を行う。
- 現場での削孔位置の変更に際しては、下表の値を満足するように施工を実施する。また、差異がある場合は再度計算を行うこと。

■RC拡幅構造の配筋について

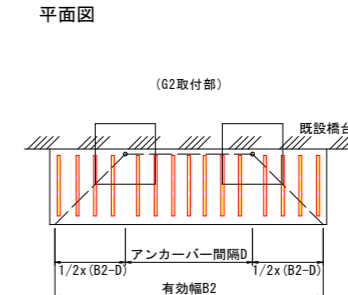
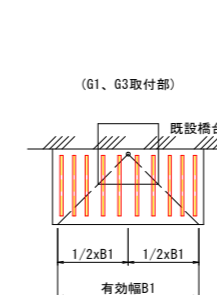
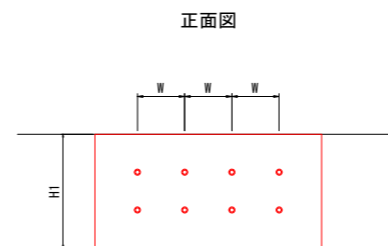
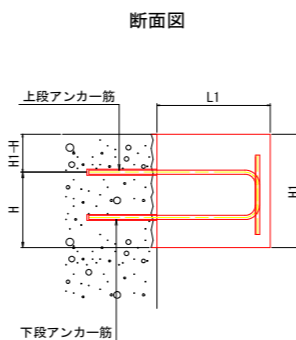
- RC拡幅部の配筋は、下表の値を満足するように施工を実施する。また、差異がある場合は再度計算を行うこと。

設置箇所名	拡幅幅 (L1)	全高 (H1)	削孔位置 (H)	アンカー筋径および段数	ピッチ (W)	アンカー本数
A1-G1	600 mm	600 mm	400 mm	D22-2段	250 mm	8本(上段4本、下段4本)
A1-G2	600 mm	600 mm	400 mm	D22-2段	250 mm	16本(上段8本、下段8本)
A1-G3	600 mm	600 mm	400 mm	D22-2段	250 mm	8本(上段4本、下段4本)
A2-G1	600 mm	1000 mm	660 mm	D32-2段	250 mm	8本(上段4本、下段4本)
A2-G2	600 mm	1000 mm	660 mm	D32-2段	250 mm	16本(上段8本、下段8本)
A2-G3	600 mm	1000 mm	660 mm	D32-2段	250 mm	8本(上段4本、下段4本)

設置箇所名	有効幅内鉄筋本数
A1-G1	6本(有効幅B1)
A1-G2	12本(有効幅B2)
A1-G3	6本(有効幅B1)
A2-G1	6本(有効幅B1)
A2-G2	12本(有効幅B2)
A2-G3	6本(有効幅B1)



設置箇所名	h1
A1-G1	14 mm
A1-G2(上流側)	12 mm
A1-G2(下流側)	10 mm
A1-G3	6 mm
A2-G1	12 mm
A2-G2(上流側)	11 mm
A2-G2(下流側)	15 mm
A2-G3	16 mm

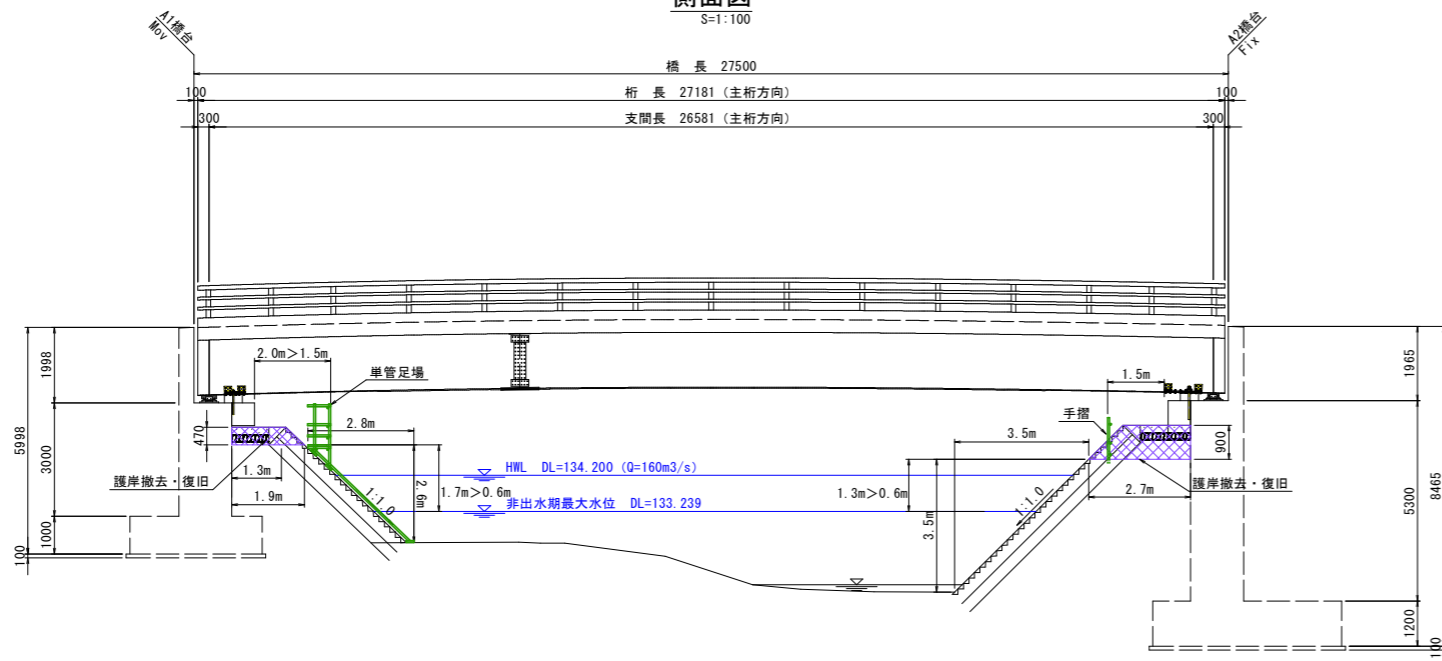


実施設計図面

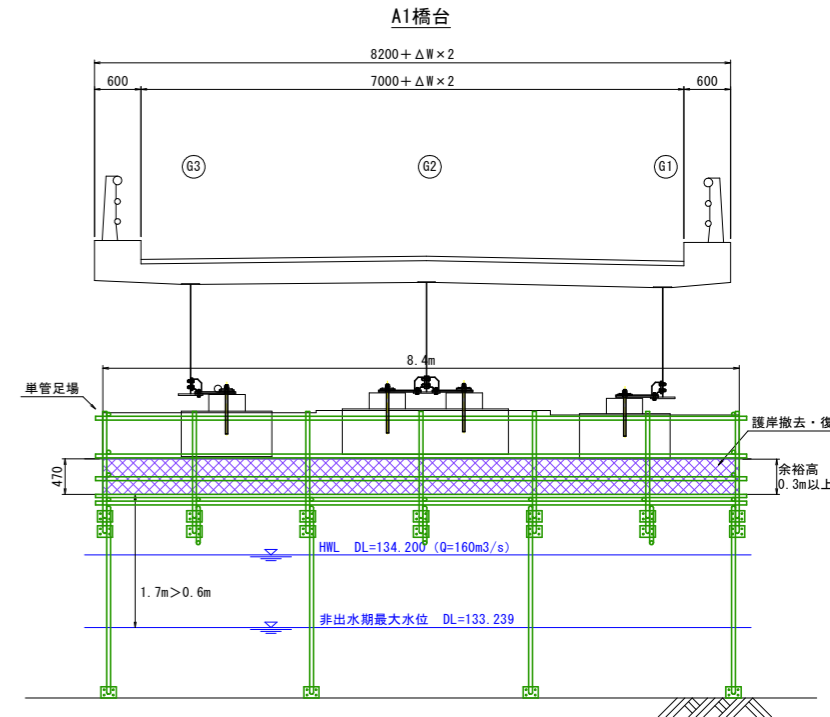
工事名	R2吉士 志度山川線（一の瀬橋） 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	（主）志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町（一の瀬橋）		
図面名	施工手順図（案）および施工注意事項		
縮尺	---	図面番号	25/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

仮設工参考図

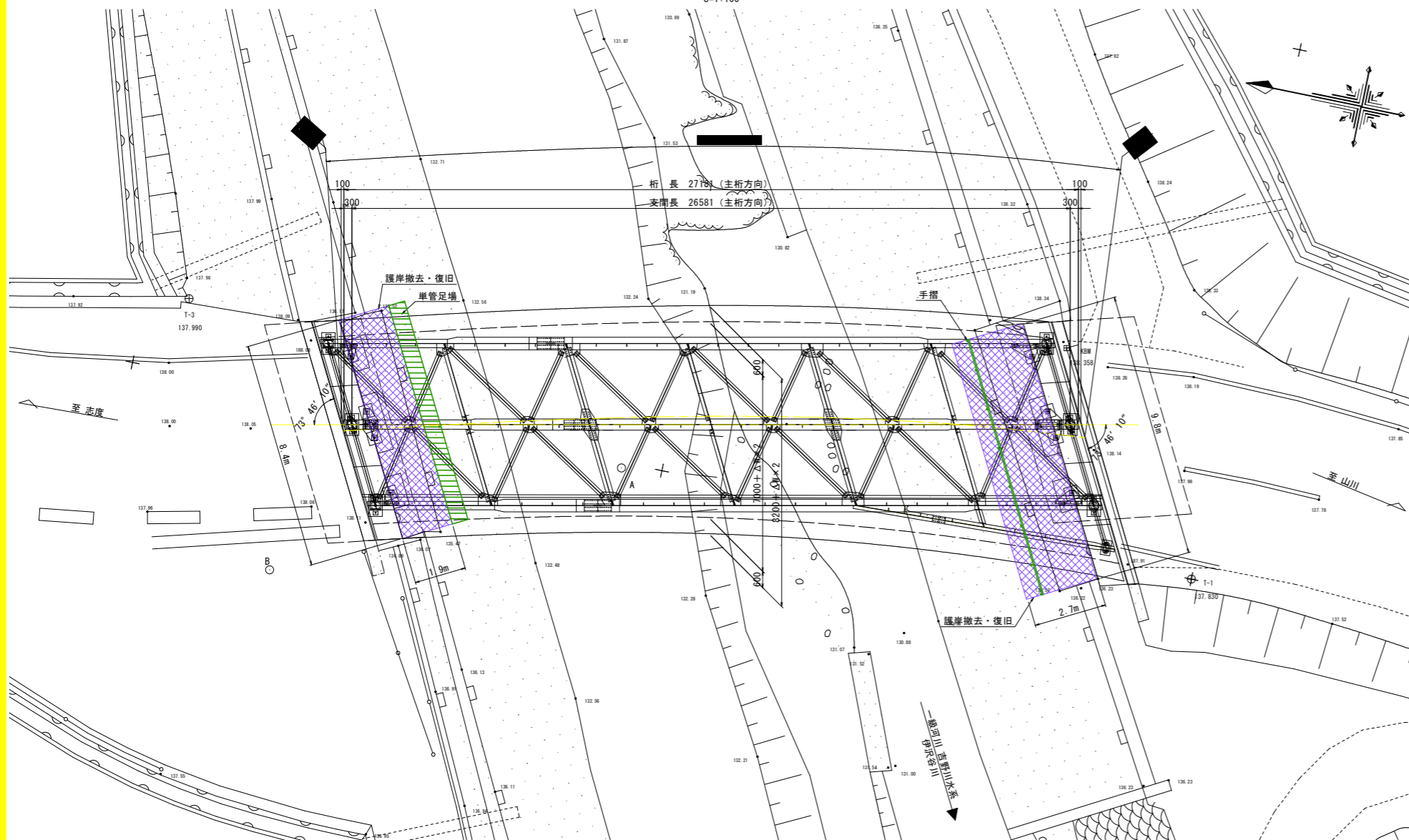
側面図
S=1:100



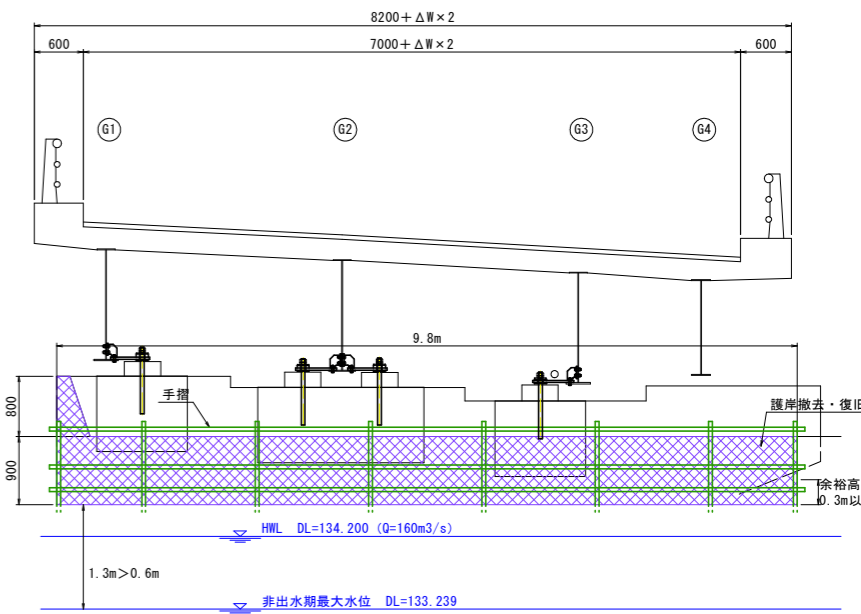
断面図
S=1:50



平面図
S=1:100



A2橋台



注記

- ・本図面は、橋梁耐震補強工事を実施する場合の参考図である。
- ・非出水期施工(11月～翌3月)を原則とする。
- ・護岸撤去位置はHWL (DL=134.200m) 以上で、非出水期最大水位 (DL=133.239m) に対してH=0.6m以上の余裕高を確保している。
- ・単管足場による施工を基本とし、異常出水が見込まれる場合は足場を解体する。
- ・足場材搬入・搬出及び部材搬入時に通行規制(片側交互通行)を行う場合は、工事発注者と協議をすること。
- ・本図面は参考図であるため、適切な仮設計画を立案すること。
- ・工事における支障物件を再確認すること。

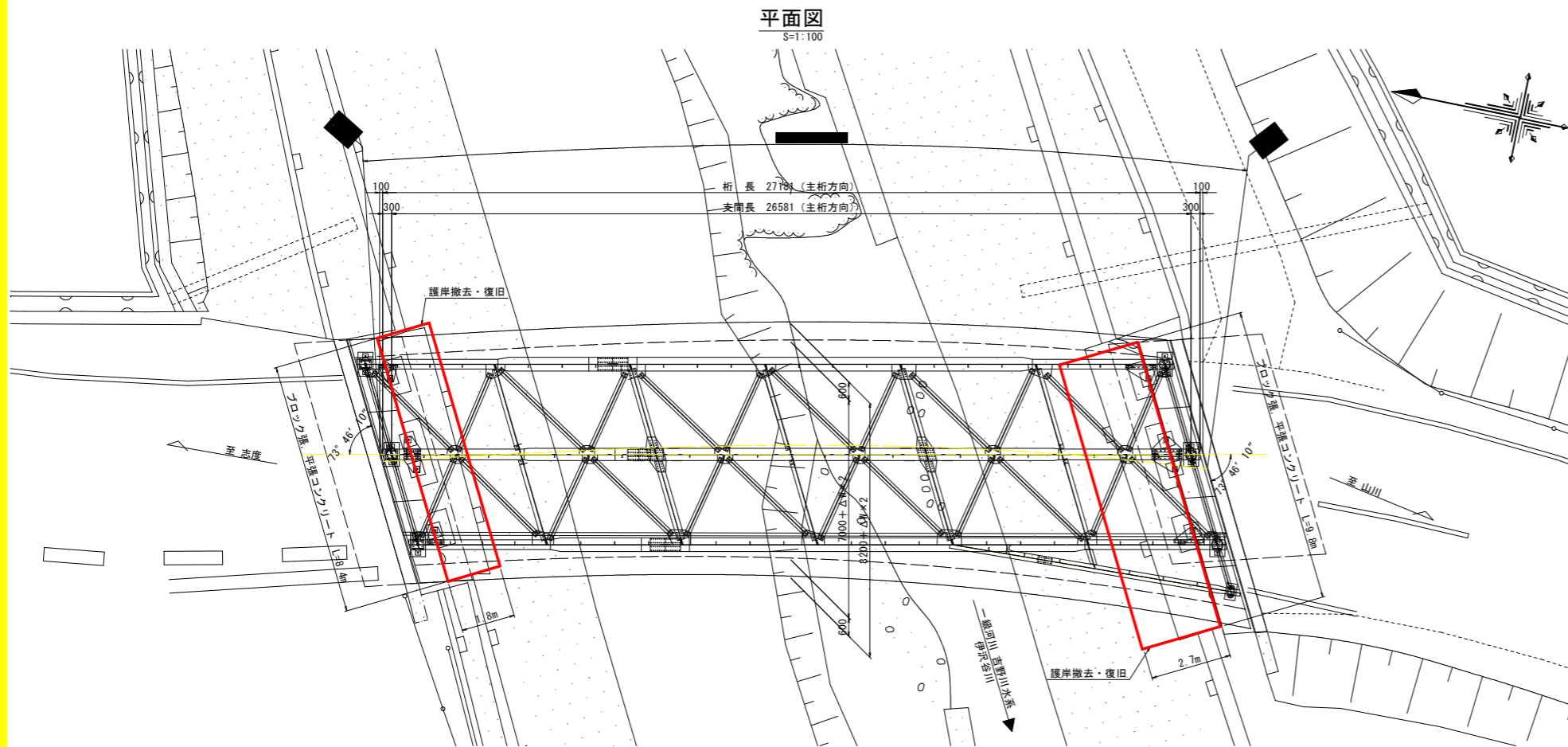
凡例

	単管足場
	護岸撤去・復旧

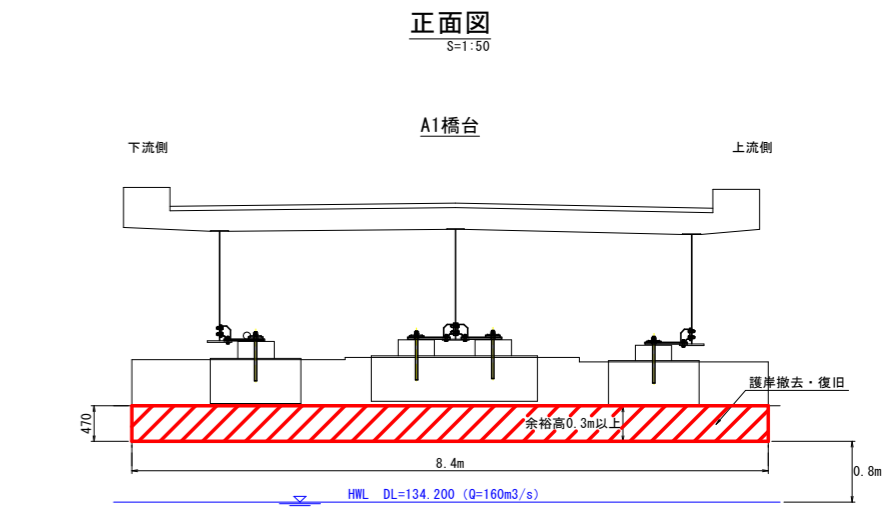
実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)		
図面名	仮設工参考図		
縮尺	図示	図面番号	26/28
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎		

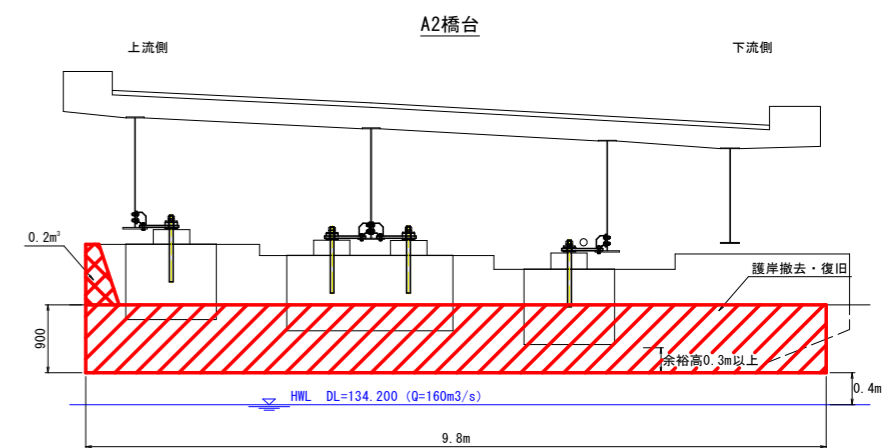
護岸撤去・復旧工詳細図



平面図
S=1:100



正面図
S=1:50



正面図
S=1:50

断面図
S=1:40

撤去工詳細図

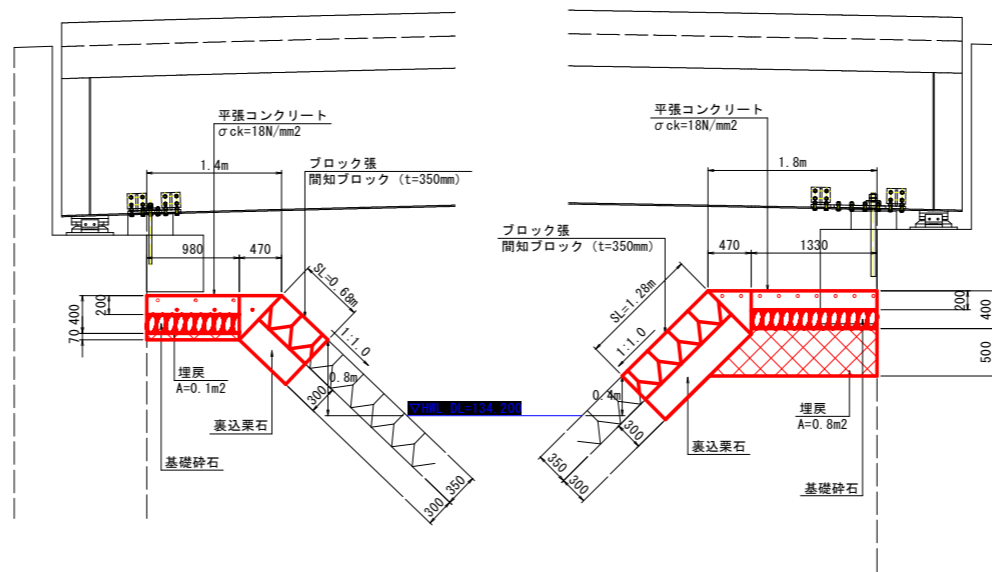
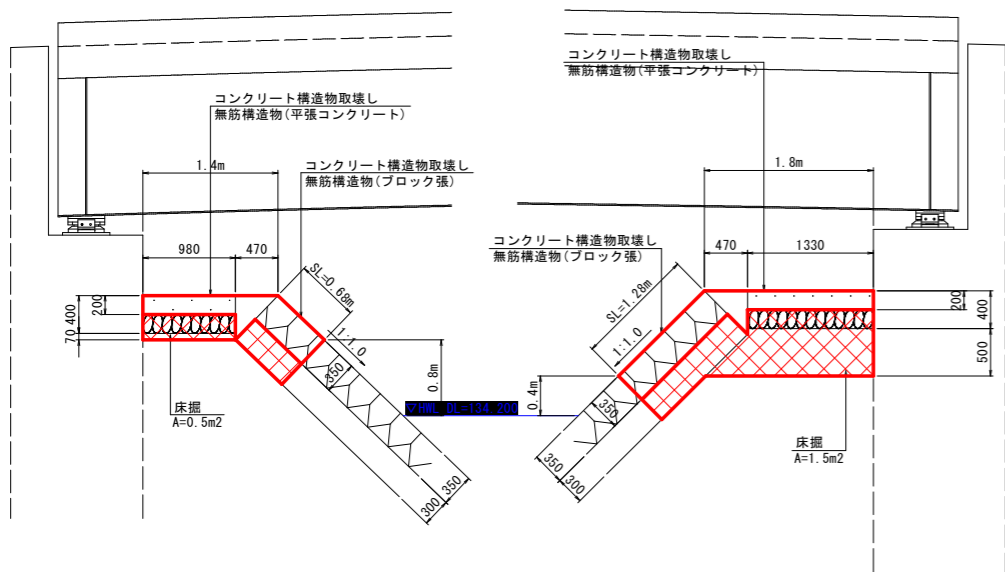
復旧工詳細図

A1橋台

A2橋台

A1橋台

A2橋台



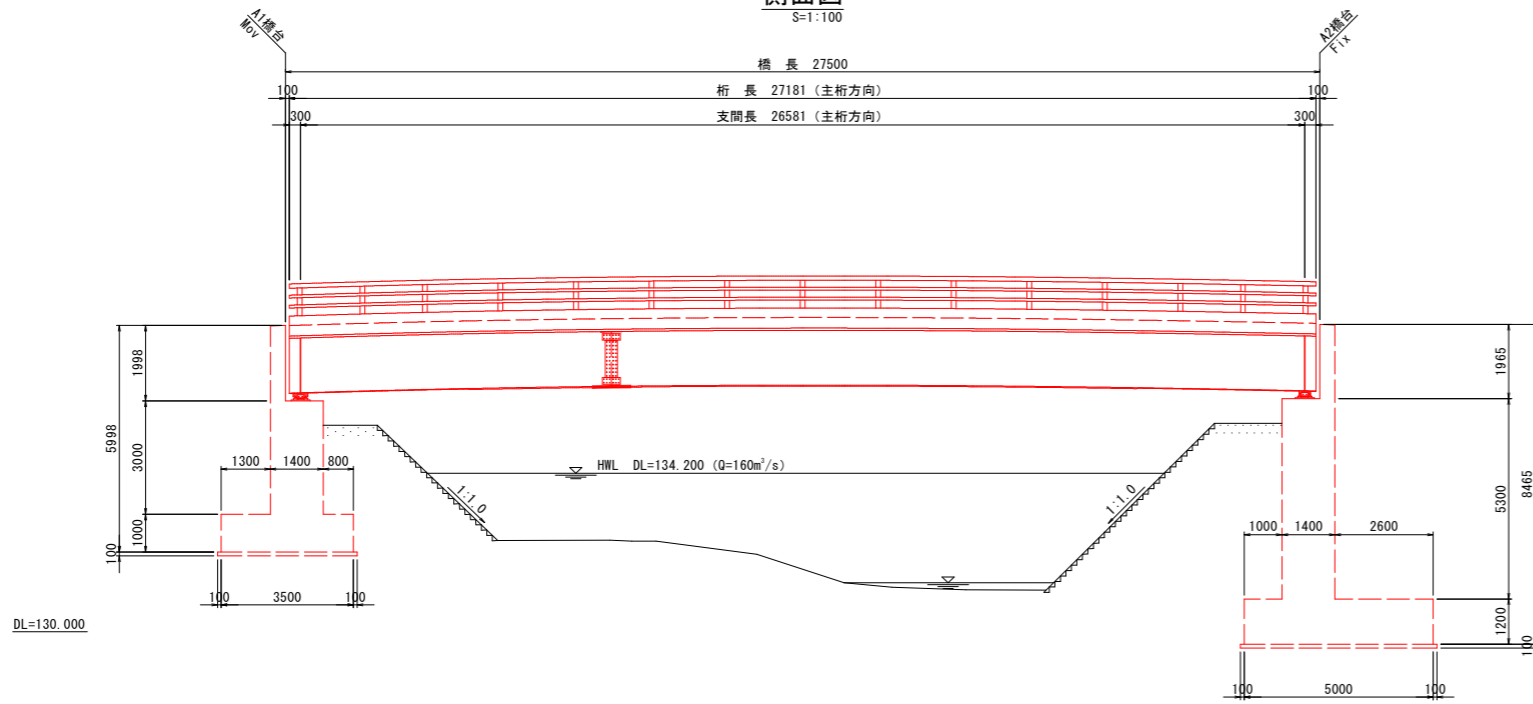
注記
 ・施工中は護岸天端付近を取壊すため、橋台前面の土砂が露出した状況となる。出水が想定される場合は、事前に土のう等で土砂部を覆い、出水に対して安全な対策を講ずること。
 ・護岸撤去は、施工空間確保のため実施する。施工においては、施工に適した高さに設定すること。また、変更時は、河川管理者の承諾を得ること。

実施設計図面

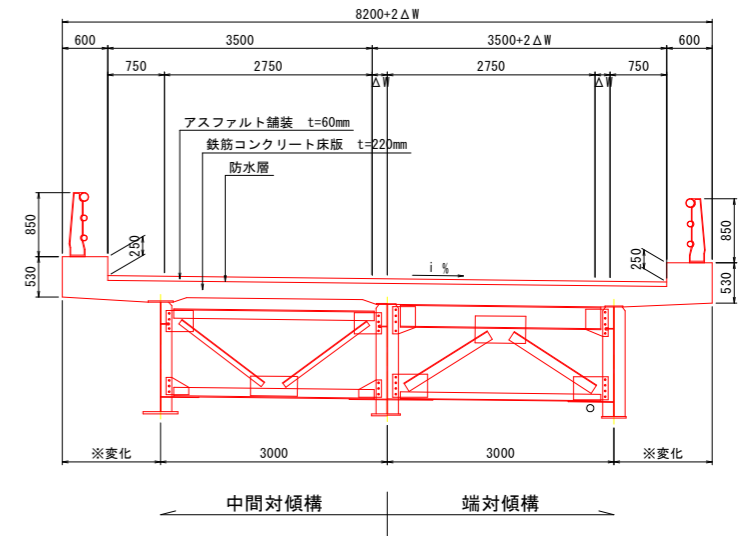
工事名	R2吉土 志度山川線(一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事
路線名等	(主) 志度山川線
工事箇所	阿波市阿波町(一の瀬橋)
図面名	護岸撤去・復旧工詳細図
縮尺	図示 図面番号 27/28
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎

現況橋梁一般図

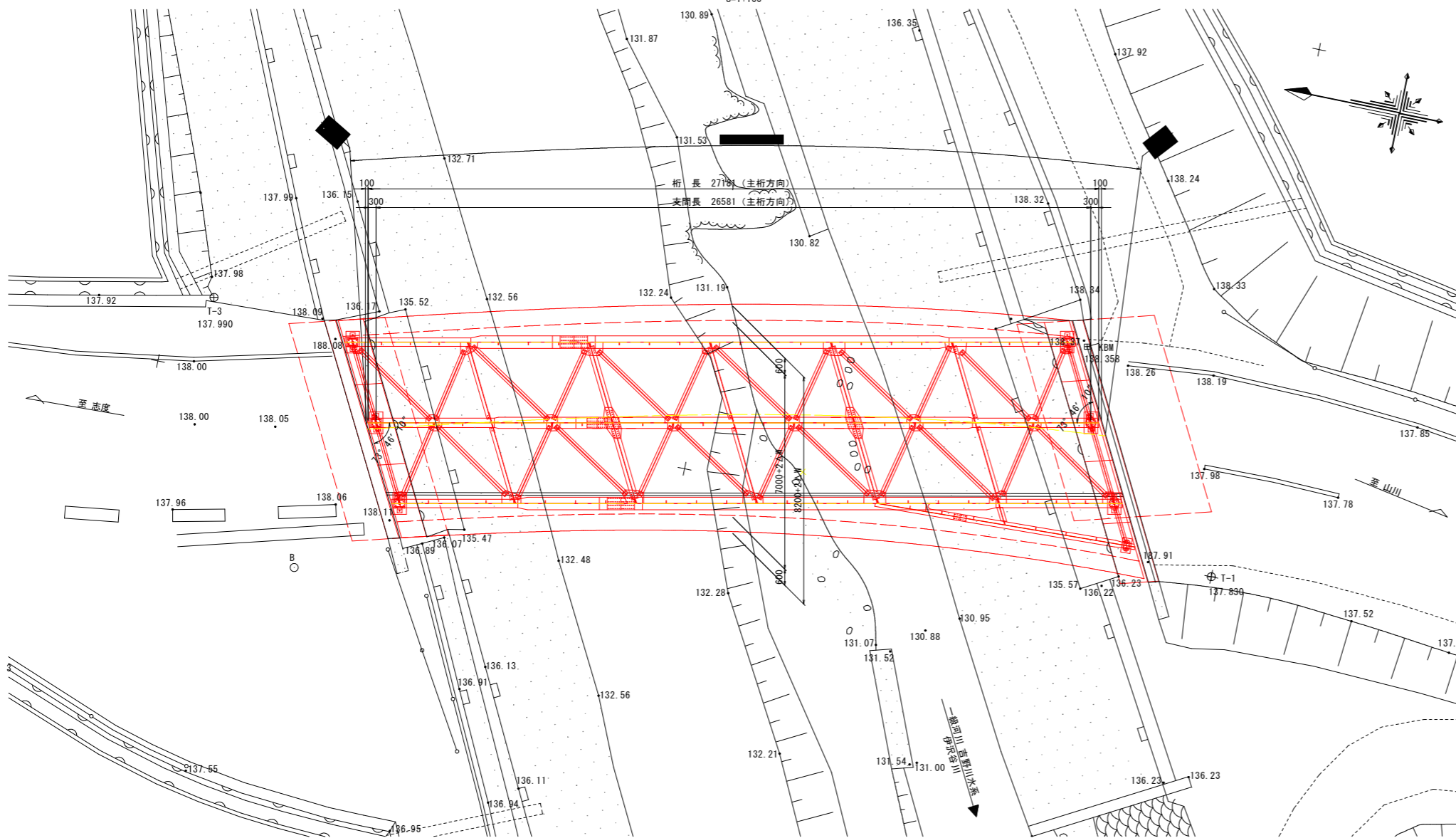
側面図
S=1:100



断面図
S=1:50



平面図
S=1:100



現橋諸元

路線名	主要地方道 志度山川線	※3	
道路区分	第3種 第4級	※2	
設計速度	40km/h	※2	
橋梁名	一の瀬橋 (一ノ瀬橋)	※1~3	
架設年	昭和62年 (1987年) 12月	※1.3	
橋格	1等橋 (TL-20)	※1.2	
上部工	形式	活荷重合成板桁橋	※2
	橋長	27.500m (道路CL上)	※1~3
	桁長	27.181m (主桁方向)	※2
	支間長	26.581m (主桁方向)	※2
	有効幅員	車道: 7.000m+2ΔW	※2
	平面線形	R=65.000	※2
	横断線形	i _{max} =6.0%	※2
下部工	縦断線形	5.0% / 9.0% (VCL=65.000)	※2
	斜角	骨組: θ _上 =73° 46' 10"	※2
	舗装	アスファルト舗装	※2
	躯体形式	逆T式橋台	※2.3
	基礎形式	直接基礎	※2
	支持地盤	岩石 (風化泥岩, 泥岩)	※2.3
	コンクリート設計基準強度	上部工 σ _{ck} =30N/mm ² 下部工 σ _{ck} =21N/mm ²	※2
適用基準	昭和47年 道路橋示方書・同解説	※1.2	

河川諸元

河川名	一級河川吉野川水系伊沢谷川	※1~3
計画高水流量	Q=160m³/s	※2
計画高水位	DL=134.200	※2

※1~3は以下の資料を根拠とした。
 1. 橋銘板・橋歴板 2. 完成図書 3. 橋梁台帳

実施設計図面

工事名	R2吉士 志度山川線 (一の瀬橋) 阿波・阿波 橋梁耐震工事
路線名等	(主) 志度山川線
工事箇所	阿波市阿波町 (一の瀬橋)
図面名	現況橋梁一般図
縮尺	図示 図面番号 28/28
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎